

製品管理サイト_管理者ガイド

Copyright (c) 2016 – 2024, Big Bang System Corporation. All rights reserved.

本書に記載された事項で発生したいかなる事態もその責務を負いません。また、本書は作成日時点での情報をもとに記述しています。(株)ビービーシステムは予告なく本書の内容を変更する事があります。

その他、本書に記載されているサービス名、製品名または会社名は、各社の商標または登録商標です。本書では TM マーク、R マークは明記していません。

目次

はじめに.....	1
1. 機能紹介.....	2
1.1 製品説明.....	2
2. 管理者サインイン.....	3
3. 製品管理画面.....	5
4. AddressLook 設定.....	6
4.1 共通設定.....	6
4.2 Premium 設定.....	8
4.2.1 Microsoft Graph API のアクセス許可.....	10
4.3 Teams 設定.....	11
4.3.1 Microsoft Teams の利用.....	12
4.4 ブラウザ版設定.....	14
4.5 個人情報の更新.....	14
4.6 Exchange への接続ユーザー設定.....	15
4.6.1 アクセス許可.....	16
4.6.2 Exchange 接続ユーザー：新規作成.....	17
4.6.3 Exchange 接続ユーザー：編集.....	19
4.6.4 Exchange 接続ユーザー：削除.....	19
5. GroupLook 設定.....	20
6. ExLook 設定：ExLook 管理ツール.....	22
6.1 ExLook サイト設定：新規追加.....	22
6.2 ExLook サイト設定：変更.....	24
6.2.1 基本設定.....	24
6.2.2 Exchange 設定.....	26
6.2.3 表示設定.....	28
6.2.4 添付ファイル参照設定.....	29
6.2.5 メニュー画面設定.....	31
6.2.6 追加リンク設定.....	32
6.3 ExLook サイト設定：削除.....	33
6.4 共通設定：ログ出力.....	33
6.5 OAuth 認証利用時の設定.....	35
6.5.1 初期設定.....	35
6.5.2 設定解除.....	36
7. ExLook 設定：ExLook 機体認証管理ツール.....	40
7.1 サイト設定：新規追加.....	40

7.2	サイト設定：変更	41
7.2.1	基本設定	41
7.2.2	ホワイトリスト設定	42
7.2.3	PIN コード設定	43
7.2.4	マスク設定	44
7.3	サイト設定：削除	44
7.4	ユーザー管理：ホワイトリスト管理	45
7.4.1	ホワイトリスト設定（端末登録用ページ）	45
7.4.2	端末情報の表示・検索	47
7.4.3	登録端末の有効化・無効化	49
7.5	ユーザー管理：端末情報	50
7.5.1	端末制限設定・解除	50
8.	ResourceLook・来訪者管理設定	53
9.	IBLook 設定	55
9.1	Skype for Business 初期設定	57
9.2	Graph API 初期設定	59
9.3	Microsoft Teams 初期設定	60
9.4	設定解除	62
10.	ScheduleLook Lite 設定	65
10.1	ScheduleLook Lite 初期設定	66
11.	共通設定	68
11.1	Exchange アカウント設定	68
11.1.1	Exchange サービス用アカウントの用意	68
11.1.2	新規作成	71
11.1.3	編集	73
11.1.4	削除	74
11.2	SharePoint アカウント設定	76
11.2.1	新規作成	76
11.2.2	編集	77
11.2.3	削除	78
11.3	フェデレーション設定	80
11.3.1	新規作成	80
11.3.2	編集	82
11.3.3	削除	83
11.4	ユーザーアカウント設定	85
11.4.1	新規作成	85
11.4.2	編集	87

11.4.3	削除	88
12.	連携機能の設定	90
12.1	フェデレーション認証設定	90
12.2	組織階層情報メンテナンスツール導入	90
12.2.1	利用可能ユーザーの登録	90
12.3	階層型アドレス帳情報の登録	90
12.4	複数アドレス帳の登録(AddressLook)	91

はじめに

本ガイドは、製品管理サイトの利用方法について説明します。

製品管理サイトでは、製品ごとの「管理設定」および、製品全体に利用する「共通設定」の設定を行います。

※本ガイド中の画面は作成時点のものです。

1. 機能紹介

製品管理サイトでは各アプリケーションの管理者設定が一ヶ所に集約されており、設定の変更・管理をスムーズに行うことができます。

共通設定の「フェデレーション設定」と「ユーザー管理」については、必要に応じて設定します。

1.1 製品説明

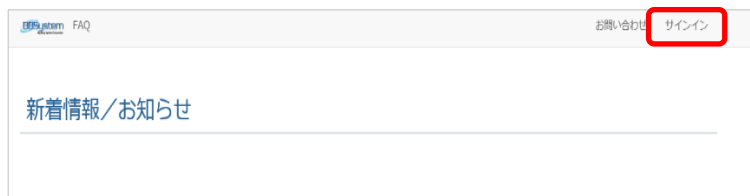
製品管理サイトで管理するアプリケーションは以下の通りです。

メニューには、契約済みのアプリケーションのみ表示します。

アプリケーション名	説明
AddressLook	組織情報・アドレス情報を階層型アドレス帳として表示します。 アドレス帳は複数作成でき、各アドレス帳は利用許可ユーザーのみで表示可能です。
GroupLook	予定の空き時間情報を表示します。 新しい予定や設備予約を作成できます。
ExLook	メールボックス・予定表・連絡先などを表示します。 受信メールの件数や本日の予定を確認することもできます。 タスク・メモを管理します。
ResourceLook	会議室などのリソース使用状況を管理します。
来訪者管理	Outlook・Outlook on the web（OWA）上で、会議予約に来訪者情報を登録します。
IBLook	組織階層情報・アドレス情報・お気に入りなどを表示します。 出社状況ステータス・行先・帰社時間など в籍情報を登録します。 伝言メモを送信します。
ScheduleLook Lite	Microsoft Teams のチームに所属するメンバーの予定を表示します。

2. 管理者サインイン

1. 製品管理サイトに接続します。
<https://portal.bbsonlineservices.net>
2. 画面右上の「サインイン」を選択します。



[画面 1]

3. サインイン画面が開くので、管理者アカウントとパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。

The image shows a sign-in form titled 'サインイン'. It has two input fields: 'ユーザーID' (User ID) and 'パスワード' (Password). Below these is a checkbox labeled 'ログイン情報を保持する' (Remember login information). At the bottom are two buttons: 'サインイン' (Sign In) and 'キャンセル' (Cancel).

[画面 2]

4. ヘッダーメニューから「管理」を選択します。



[画面 3]

5. 画面左に、契約済みの製品一覧と共通設定のバナーが表示されます。



[画面 4]

6. 製品名を選択すると、該当製品の管理画面が表示されます。

3. 製品管理画面

管理画面の左ペインには、契約済み製品のリンク一覧と共通設定のバナーが表示されます。
右ペインには、各製品の契約状況が表示されます。



[画面 5]

4. AddressLook 設定

階層型アドレス帳 AddressLook の管理設定を行います。

※組織階層情報およびアドレス情報の管理については、別紙「組織階層情報メンテナンスツールガイド」をご参照ください。

※機能の詳細については、別紙「AddressLook クライアント導入設定ガイド」をご参照ください。

管理メニューから「AddressLook」を選択すると、AddressLook の管理画面が開きます。

4.1 共通設定

すべての AddressLook 製品で共通する設定を行うことができます。

AddressLook設定

共通設定

☐ お気に入りタブを表示する

☐ 連絡先タブを表示する

☒ 検索タブを表示する

☐ アドレス一覧表示時にユーザーの写真を表示する

アドレス一覧の1ページ当たりの表示件数:

件 (10-250)

アドレス一覧の並び順:

表示名

※アドレスの表示順が同じ値を設定されている場合の並び順を指定します。
※並べ替えは文字コードの昇順で行っているため、漢字が登録されていると意図しない並びとなる可能性があります。

連絡先一覧の並び順:

姓・名 (カナ)

※連絡先の並び順を指定します。
※並べ替えは文字コードの昇順で行っているため、漢字が登録されていると意図しない並びとなる可能性があります。

Cookie認証情報の保持期間:

日 (0-3650)

フェデレーション リダイレクト先:

1:b2clogin

☐ 高度なセキュリティを使用する (有効にする場合、最新の組織階層情報メンテナンスツールを使用してください。)

「高度なセキュリティを使用する」を有効にした場合、製品管理サイトでユーザーのパスワードを再登録して頂く必要があります。

[画面 6]

設定	説明
お気に入りタブを表示する	AddressLook 各製品に「お気に入り」タブを表示するか否かを設定します。 既定では無効に設定されています。 <ul style="list-style-type: none">有効： AddressLook で「お気に入り」タブを表示します。 よく利用する組織やアドレスを、お気に入りに登録して参照できます。

	<ul style="list-style-type: none"> 無効： AddressLook で「お気に入り」タブを非表示にします。
連絡先タブを表示する	<p>AddressLook 各製品に「連絡先」タブを表示するか否かを設定します。</p> <p>既定では無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： AddressLook で「連絡先」タブを表示します。 Outlook に登録した個人の連絡先を、AddressLook で利用できます。 無効： AddressLook で「連絡先」タブを非表示にします。
検索タブを表示する	<p>AddressLook 各製品に「検索」タブを表示するか否かを設定します。</p> <p>既定では有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： AddressLook で「検索」タブを表示します。 アドレス情報の検索を行うことができます。 無効： AddressLook で「検索」タブを非表示にします。
アドレス一覧表示時に ユーザーの写真を表示 する	<p>ユーザー情報としてユーザーアイコンを表示するか否かを設定します。</p> <p>既定では無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： ユーザーアイコンを表示します。 無効： ユーザーアイコンを非表示にします。
アドレス一覧の 1 ページ 当たりの表示件数	<p>アドレス一覧に表示するアドレス情報の最大件数を、10～250 件の間で設定します。</p> <p>既定では 100 件に設定されています。</p>
アドレス一覧の並び順	<p>同じ表示順が設定されたアドレス情報の並び順を設定します。</p> <p>既定では「表示名」に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示名： アドレス情報を「表示名」の昇順でソートします。 姓・名（カナ）： アドレス情報を「フリガナ(姓)」・「フリガナ(名)」の昇順でソートします。
連絡先一覧の並び順	<p>連絡先の並び順を設定します。</p> <p>既定では「姓・名（カナ）」に設定されています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 表示順： 連絡先を「表示名」の昇順でソートします。 姓・名（カナ）： 連絡先を「フリガナ(姓)」・「フリガナ(名)」の昇順でソートします。
Cookie 認証情報の保持期間	<p>ローカルに保存される Cookie 認証情報の保持期間を、0～3650 日の間で設定します。</p> <p>既定では 14 日に設定されています。</p> <p>※0 日を指定した場合、AddressLook を利用しているブラウザを閉じるたびに、認証情報がクリアされます。</p>
フェデレーション リダイレクト先	<p>フェデレーション認証を利用する際のリダイレクト先を選択します。</p> <p>現時点では「1:b2clogin」に設定してください。</p>
高度なセキュリティを使用する	<p>高度なセキュリティを使用するか否かを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> オン： AddressLook に保存されるパスワードのハッシュ化のアルゴリズムが SHA-1 から SHA-2 へ切り替わり、セキュリティレベルがより高度になります。 オフ： AddressLook に保存されるパスワードのハッシュ化のアルゴリズムに SHA-1 を使用します。

4.2 Premium 設定

AddressLook Premium の利用に関する設定を行うことができます。

Premium設定

☐ 検索件数の上限を設定する
検索件数の上限: 件 (1-1000)

☐ アドレス一覧の表示項目を固定化しない
※メンテナンスツールで設定したアドレス帳の表示項目から、上位3項目を階層/検索画面のアドレス一覧に表示します。

☒ 設定ボタンを表示する

☒ 設定画面にログイン/ログオフボタンを表示する

☐ AddressLook Premium v2 で Microsoft Graph API を使用する ⓘ
※Microsoft Graph API を使用する場合、「Microsoft Graph API のアクセス許可」からアクセス許可を行ってください。(初回のみ)

Microsoft Graph API のアクセス許可:
※アプリ使用を許可する設定を行います。
管理者アカウントにて1回のみ実行してください。

[画面 7]

設定	説明
検索件数の上限を設定	検索画面で検索した際の検索結果上限件数を、1～1000 件の間で設定

する	<p>します。</p> <p>既定では 50 件に設定されています。</p> <p>※連絡先画面での検索には適用されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： 検索結果の上限件数を指定します。 トグルボタンをオンにすると、件数を設定することができます。 無効： 検索結果の上限件数を指定しません。
アドレス一覧の表示項目を固定化しない	<p>AddressLook Premium の階層・検索画面のアドレス一覧に、メンテナンスツールで設定したアドレス帳表示項目の上位 3 項目を表示するか否かを設定します。</p> <p>既定では無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： メンテナンスツールで設定した表示項目上位 3 項目を Premium に表示します。 無効： Premium に表示する 3 項目を、「表示名(カナ)」「表示名」「メールアドレス」に固定します。
設定ボタンを表示する	<p>AddressLook Premium のフッターに、設定ボタンを表示するか否かを設定します。</p> <p>既定では有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： 設定ボタンを表示します。 無効： 設定ボタンを非表示にします。
設定画面にログイン/ログオフボタンを表示する	<p>設定画面に、ログイン・ログオフボタンを表示するか否かを設定します。</p> <p>既定では有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： ログイン・ログオフボタンを表示します。 無効： ログイン・ログオフボタンを非表示にします。
AddressLook Premium v2 で Microsoft Graph API を使用する	<p>AddressLook Premium v2 で、Microsoft Graph API を利用して連絡先・アイコン画像を取得するか否かを設定します。</p> <p>既定では無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： Graph API を参照して連絡先・アイコン画像を取得します。

	<p>※Graph API を利用する場合、Exchange アカウントの登録は必要ありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効： EWS を参照して連絡先・アイコン画像を取得します。 「4.6Exchange への接続ユーザー設定」「11.1Exchange アカウント設定」のいずれかを参照し、Exchange アカウントの登録を行ってください。
Microsoft Graph API のアクセス許可	<p>AddressLook Premium で Microsoft Graph API を利用するにあたり、管理者が初期設定を行う必要があります。</p> <p>初期設定が完了すると、Graph API を利用して連絡先が取得できるようになります。</p> <p>実行手順につきましては、「4.2.1Microsoft Graph API のアクセス許可」をご参照ください。</p>

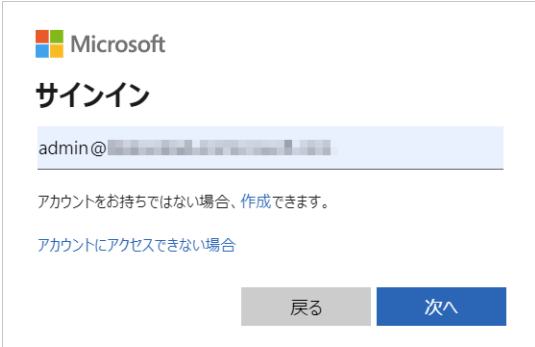
4.2.1Microsoft Graph API のアクセス許可

Microsoft Graph API を利用するための初期設定を行います。

初期設定が完了すると、連絡先の参照に Graph API が利用できるようになります。

初期設定は、Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントで初回に 1 度のみ実施する必要があります。

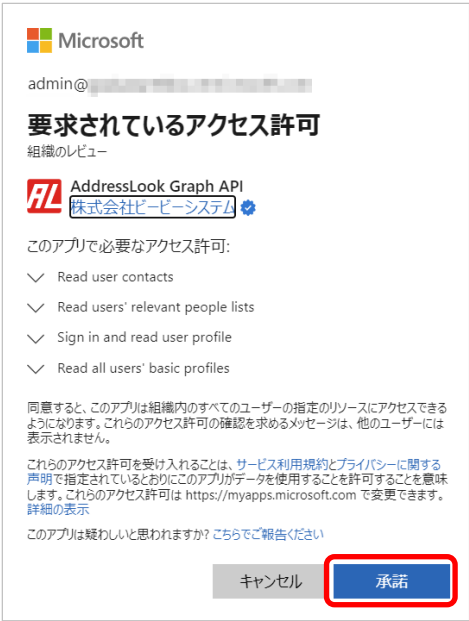
1. Microsoft Graph API のアクセス許可の「Admin Consent」ボタンを選択します。
2. Microsoft 365 グローバル管理者のメールアドレスとパスワードを入力し、サインインします。



The image shows a Microsoft sign-in interface. At the top is the Microsoft logo. Below it is the text 'サインイン' (Sign in). There is a text input field containing 'admin@' followed by a masked email address. Below the input field, there are two links: 'アカウントをお持ちではない場合、作成できます。' (If you don't have an account, you can create one.) and 'アカウントにアクセスできない場合' (If you can't access your account). At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next).

[画面 8]

3. Microsoft Graph API を利用するためのアクセス許可が要求されます。
「承諾」ボタンを選択します。



[画面 9]

4. 「ウィンドウを閉じてください。」というメッセージウィンドウが表示されると、初期設定完了です。

4.3 Teams 設定

AddressLook for Microsoft Teams の利用に関する設定を行うことができます。



[画面 10]

設定	説明
Microsoft Teams の利用	AddressLook for Microsoft Teams を利用するにあたり、管理者が初期設定を行う必要があります。 初期設定が完了すると、テナントで AddressLook for Microsoft Teams が利用できるようになります。 実行手順につきましては、「4.3.1Microsoft Teams の利用」をご参照

	ください。
AddressLook for Microsoft Teams をシングルサインオンで利用する	<p>AddressLook for Microsoft Teams のサインインに、シングルサインオンを利用するか否かを設定します。</p> <p>既定では無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： AddressLook for Microsoft Teams のサインインに、シングルサインオンを利用します。 Microsoft Teams にサインインしているアカウントが自動的に使用されます。 無効： AddressLook for Microsoft Teams のサインインに、シングルサインオンを利用しません。
AddressLook for Microsoft Teams で Microsoft Graph API を使用する	<p>AddressLook for Microsoft Teams で、Microsoft Graph API を利用して連絡先・アイコン画像を取得するか否かを設定します。</p> <p>既定では有効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： Graph API を参照して連絡先・アイコン画像を取得します。 ※Graph API を利用する場合、Exchange アカウントの登録は必要ありません。 無効： EWS を参照して連絡先・アイコン画像を取得します。 「4.6Exchange への接続ユーザー設定」「11.1Exchange アカウント設定」のいずれかを参照し、Exchange アカウントの登録を行ってください。 <p>AddressLook for Microsoft Teams で Microsoft Graph API を利用するにあたり、管理者が初期設定を行う必要があります。</p> <p>初期設定が完了すると、Graph API を利用して連絡先が取得できるようになります。</p> <p>実行手順につきましては、「4.3.1Microsoft Teams の利用」をご参照ください。</p>

4.3.1Microsoft Teams の利用

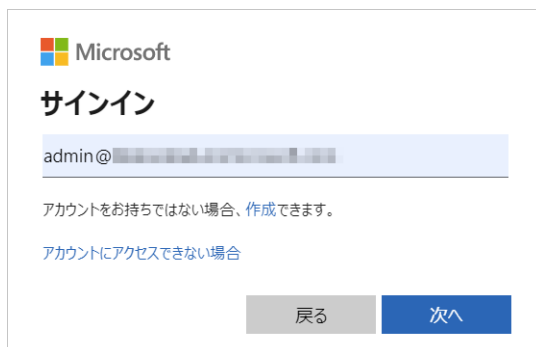
Microsoft Teams を利用するための初期設定を行います。

初期設定が完了すると、AddressLook をインストールした組織の利用者が AddressLook for Microsoft Teams を利用できるようになります。

初期設定は、Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントで初回に 1 度のみ実施する必要があります。

あります。

1. Microsoft Teams 利用の「Admin Consent」 ボタンを選択します。
2. Microsoft 365 管理者のメールアドレスとパスワードを入力し、サインインします。



[画面 11]

3. AddressLook for Microsoft Teams を利用するためのアクセス許可が要求されます。
「承諾」 ボタンを選択します。



[画面 12]

4. 「ウィンドウを閉じてください。」というメッセージウィンドウが表示されると、初期設定完了です。

4.4 ブラウザ版設定

ブラウザ版 AddressLook の利用に関する設定を行うことができます。

ブラウザ版設定

☐ AddressLook画面にコピーボタンを表示する

[画面 13]

設定	説明
AddressLook 画面にコピーボタンを表示する	<p>ブラウザ版 AddressLook の画面に、コピーボタンを表示するか否か設定します。</p> <p>既定では「無効」に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： ブラウザ版 AddressLook でコピーボタンを表示します。 無効： ブラウザ版 AddressLook でコピーボタンを非表示にします。

4.5 個人情報の更新

個人情報の編集画面での、ユーザー情報の更新に関する設定を行うことができます。

※個人情報の編集は、ブラウザ版 AddressLook の画面で実施することができます。

個人情報の更新

☐ ユーザーによる編集を許可する

アドレス帳

デフォルト

編集を許可する項目にチェックを入れてください。

「編集を許可する」が有効な場合、以下でチェックした項目が編集可能になります。

☐ 表示名
☐ 姓
☐ 名
☐ フリガナ（姓）

☐ フリガナ（名）
☐ フリガナ（表示名）
☐ エイリアス
☐ 役職

☐ 部署
☐ 会社名
☐ 事業所
☐ 市区町村

☐ 電話番号
☐ 表示順

[画面 14]

設定	説明
ユーザーによる編集を許可する	<p>自身のユーザー情報の編集を許可するか否か設定します。</p> <p>既定では無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： サインインユーザーによるユーザー情報の編集を許可します。 トグルボタンをオンにすると、編集を許可する項目をアドレス帳ごとに設定することができます。

	<p>編集を許可した項目のみ、個人情報の編集画面で編集できるようになります。</p> <div><div>AddressLook</div><div>個人情報の編集</div><div>デフォルト</div><div>谷 和英 : ktani@</div><div><div>姓</div><div>谷</div><div>名前</div><div>和英</div><div>表示名</div><div>谷 和英</div><div>エイリアス</div><div></div></div></div> <p>[画面 15]</p> <ul style="list-style-type: none">無効： サインインユーザーによるユーザー情報の編集を禁止します。
--	---

4.6 Exchange への接続ユーザー設定

AddressLook でユーザーの写真と個人の連絡先を利用する場合、Exchange に接続して情報を取得します。

本画面では、Exchange の接続に関する設定を行うことができます。

Exchangeへの接続ユーザー設定

Exchangeへの認証方式:

基本認証

※OAuth認証を使用する場合、アクセス許可を行ってください。(初回のみ)

アクセス許可:

Admin Consent

※アプリ使用を許可する設定を行います。

管理者アカウントにて1回のみ実行してください。

以下の設定を有効にした場合は、左側の Exchange Account の設定は利用されません。

☐ Exchangeへ接続する管理者ユーザーをドメイン別に利用する

[新規作成](#) | [Manageに戻る](#)

Server Type	Domain Name	Server Name	Http	Email Address
-------------	-------------	-------------	------	---------------

保存

戻る

[画面 16]

設定	説明
Exchange への認証方式	Exchange に接続する際の認証方式を選択します。 既定では「基本認証」が設定されています。 現時点では「OAuth 認証」に設定してください。 また、OAuth 認証を使用するために「4.6.1 アクセス許可」を実施してください。
アクセス許可	Exchange への認証方式で「OAuth 認証」を選択した場合、OAuth 認証を使用するための初期設定を行う必要があります。 初期設定が完了すると、Exchange への接続に OAuth 認証が使用でき

	<p>るようになります。</p> <p>実行手順につきましては、「4.6.1 アクセス許可」をご参照ください。</p>
Exchange へ接続する 管理者ユーザーをドメ イン別に利用する	<p>Exchange に接続する管理者ユーザーを、ドメインごとに設定するか 否かを選択します。</p> <p>既定では無効に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効： Exchange に接続する管理者ユーザーを、ドメイン単位で設定 します。 本設定を有効にした場合、本画面下部での接続ユーザー設定が 反映され、Exchange Account 画面の設定は利用されません。 無効： Exchange に接続する管理者ユーザーを、1 人に限定して設定 します。 本設定を無効にした場合、Exchange Account 画面での設定が 反映され、本画面下部の接続ユーザー設定は利用されません。

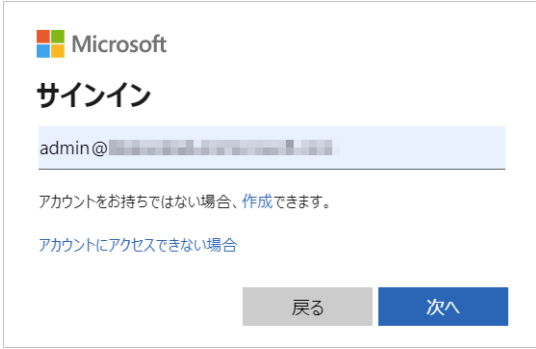
4.6.1 アクセス許可

OAuth 認証を使用するための初期設定を行います。

初期設定が完了すると、ユーザーアイコンや連絡先の取得に OAuth 認証が利用できるようになります。

初期設定は、Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントで初回に 1 度のみ実施する必要があります。

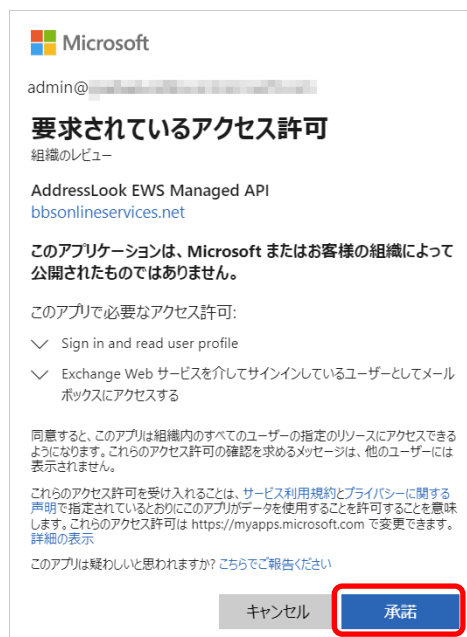
1. アクセス許可の「Admin Consent」ボタンを選択します。
2. Microsoft 365 管理者のメールアドレスとパスワードを入力し、サインインします。



The image shows a Microsoft sign-in interface. At the top is the Microsoft logo. Below it is the text 'サインイン' (Sign in). There is a text input field containing 'admin@' followed by a masked email address. Below the input field, there are two links: 'アカウントをお持ちではない場合、作成できます。' (If you don't have an account, you can create one.) and 'アカウントにアクセスできない場合' (If you can't access your account). At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '次へ' (Next).

[画面 17]

3. AddressLook で OAuth 認証を使用するためのアクセス許可が要求されます。
「承諾」ボタンを選択します。



[画面 18]

- 「ウィンドウを閉じてください。」というメッセージウィンドウが表示されると、初期設定完了です。

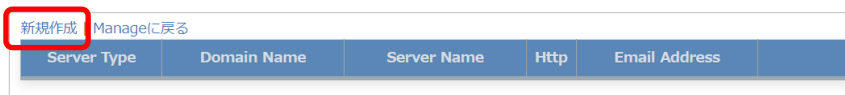
4.6.2 Exchange 接続ユーザー：新規作成

「Exchange へ接続する管理者ユーザーをドメイン別に利用する」設定を有効にした場合に利用する、Exchange 接続ユーザーを登録します。

※本作業を行う前に、Exchange サービス用アカウントの用意を完了させておく必要があります。

「11.1.1Exchange サービス用アカウントの用意」をご参照ください。

- 「新規作成」を選択します。



[画面 19]

- Add New Item 画面で、各項目を入力します。

Add New Item

Domain Name

Exchange Server Type

オンライン (自動) ▼

Exchange Server Name

Use Http
☐

Email Address

Password

更新

キャンセル

[画面 20]

設定	説明
Domain Name	使用するドメイン名を、完全修飾ドメイン名(FQDN)で入力します。 例：example.co.jp、example.onmicrosoft.com
Exchange Server Type	使用する Exchange サーバーのタイプを設定します。 既定では「オンライン (自動)」が設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> オンライン (自動) オンプレミス (自動) 2017SP1 2010 2010SP1 2010SP2 2013 2013SP1 2016
Exchange Server Name	使用する Exchange サーバー名を入力します。 Microsoft 365 の Exchange Online をご利用の場合は、「outlook.office365.com」と入力します。 オンプレミスの Exchange サーバーをご利用の場合は、Exchange サーバー名を FQDN で入力します。 例：exchange.example.co.jp
Use Http	通信に HTTPS を使用するか否かを設定します。 既定では無効に設定されています。
Email Address	Exchange サービス用アカウントのユーザーID を入力します。 例：exchangeserviceaccount@example.co.jp

Password	Exchange サービス用アカウントのパスワードを入力します。
----------	----------------------------------

- 「更新」ボタンを選択すると、設定を保存します。
- 「キャンセル」ボタンを選択すると、編集内容を破棄して AddressLook の設定画面に戻ります。

4.6.3 Exchange 接続ユーザー：編集

「Exchange へ接続する管理者ユーザーをドメイン別に利用する」設定を有効にした場合に、利用する Exchange 接続ユーザーの情報を編集します。

- 一覧から編集を行うユーザーの「編集」ボタンを選択します。

新規作成 Manageに戻る					
Server Type	Domain Name	Server Name	Http	Email Address	
0:オンライン使用	example.onmicrosoft.com	outlook.office365.com	<input type="checkbox"/>	admin@example.onmicrosoft.com	編集 削除

[画面 21]

- 設定の編集を行います。
- 「更新」ボタンを選択すると、編集した設定を保存します。
- 「キャンセル」ボタンを選択すると、編集内容を破棄して AddressLook の設定画面に戻ります。

4.6.4 Exchange 接続ユーザー：削除

- 一覧から削除を行うユーザーの「削除」ボタンを選択します。

新規作成 Manageに戻る					
Server Type	Domain Name	Server Name	Http	Email Address	
0:オンライン使用	example.onmicrosoft.com	outlook.office365.com	<input type="checkbox"/>	admin@example.onmicrosoft.com	編集 削除

[画面 22]

- 削除画面で「削除」ボタンを選択すると、該当ユーザーを削除します。
- 「キャンセル」ボタンを選択すると、該当ユーザーの削除を取り止め AddressLook の設定画面に戻ります。

5. GroupLook 設定

GroupLook の管理設定を行います。

※組織グループの管理については、別紙「GroupLook 管理者ガイド」をご参照ください。

1. 管理メニューから「GroupLook」を選択すると、GroupLook の管理画面が開きます。



[画面 23]

項目	説明
契約形態	GroupLook の契約形態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 利用中： <p>正式利用中は「利用中」アイコンが緑色で表示されます。</p> • トライアル： <p>トライアル中は「トライアル」アイコンが黄色で表示されます。</p>
フェデレーション リダイレクト先	フェデレーション認証を利用する際のリダイレクト先を選択します。 「1:b2clogin」に設定してください。 「保存」ボタンを選択すると、設定を保存します。
GroupLook 管理機能	リンクを選択すると GroupLook の個人スケジューラー画面に遷移します。
連絡先	「連絡先」には、お客様からお知らせ頂いた連絡担当者が表示されます。 弊社からのメンテナンス情報や障害報告を配信します。 「連絡先変更の依頼（メール）」のリンクから、弊社サポート宛へのメールを送信することができます。

	連絡先の変更依頼や不具合報告の際にご利用ください。
--	---------------------------

6. ExLook 設定：ExLook 管理ツール

メール・予定表・タスク管理・ExLook の管理設定を行います。

ExLook 設定は、ExLook サイト名ごとに管理します。

※機能の詳細については、別紙「ExLook Online 管理者マニュアル」をご参照ください。

6.1 ExLook サイト設定：新規追加

1. 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
2. 「ExLook 管理ツール」 - 「ExLook サイト設定」タブを開きます。



[画面 24]

3. 「新規追加」ボタンを選択します。



[画面 25]

4. ExLook サイト設定追加画面で、必要な設定を行います。

ExLookサイト設定追加

サイト設定追加

新規サイト名

設定値のコピー元サイト

(既定値)

mysite1

mysite2

mysite3

mysite4

mysite5

mysite6

mysite7

mysite8

newsite

保存

戻る

[画面 26]

設定	説明
新規サイト名	新規追加するサイト名を入力します。 指定したサイト名は、ユーザーの接続先 URL に使用されます。 半角英数字を 32 文字まで入力可能です。 ※重複する名前は指定できません。
設定値のコピー元サイト	「(既定値)」を選択します。 同じ設定のサイトを複数追加する場合は、コピー元のサイト名を選択します。

5. 「保存」ボタンを選択すると、ExLook 管理画面に新しいサイト設定が表示されます。
「戻る」ボタンを選択すると、設定内容を破棄し、ExLook 管理画面に戻ります。
6. 「設定内容を保存」ボタンを選択し、サイトの追加設定を保存します。

6.2 ExLook サイト設定：変更

1. 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
2. 「ExLook 管理ツール」 - 「ExLook サイト設定」タブを開きます。
3. プルダウンリストから編集する「ExLook サイト名」を選択します。



[画面 27]

4. サイトの設定情報が開くので、必要な設定を行います。
5. 「設定内容を保存」ボタンを選択し、設定を保存します。

※以降に、設定可能な項目について説明します。

6.2.1 基本設定

「基本設定」項目に、必要な設定を行います。

基本設定	
ExLookサイト名	newsite
ドメイン名(FQDN)	bbs.onmicrosoft.co.jp
SSLアクセラレータの使用	<input type="checkbox"/> SSLアクセラレータを使用する
接続の制限	<input checked="" type="radio"/> 全てのユーザーからの接続を許可する <input type="radio"/> 接続を許可するユーザーをファイルで指定する <div> <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="ダウンロード"/> </div> <input type="checkbox"/> 接続を拒否するユーザーをファイルで指定する <div> <input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="ダウンロード"/> </div> <p>※[接続を許可するユーザー]と[接続を拒否するユーザー]の両方に設定された場合、接続を拒否する設定が優先されます。</p>
追加認証	<input type="button" value="追加認証を使用しない"/>
プライマリSMTPアドレス	<input checked="" type="checkbox"/> ドメイン名(FQDN)で指定したものと異なるドメインを使用する ドメイン名 <input type="text" value="test.com"/>
モバイルデバイス別の表示機能の有効化	<input checked="" type="checkbox"/> このExLookサイトで携帯電話向け表示機能を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> このExLookサイトでスマートフォン向け表示機能を有効にする
拡張機能の有効化	<input checked="" type="checkbox"/> このExLookサイトでリンク表示機能を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> このExLookサイトでお気に入り機能を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> このExLookサイトで階層表示機能を有効にする

[画面 28]

設定	説明
ExLook サイト名 *	<p>設定を区別するために、ExLook 参照時に ExLookSITE(SITE)引数として使用します。</p> <p>半角英数字で最大 32 文字まで入力可能です。</p> <p>※他サイトと重複する名前は指定できません。</p>
ドメイン名(FQDN) *	<p>参照する Exchange サーバーが所属するドメイン名を完全修飾ドメイン名(FQDN)で指定します。</p> <p>半角英数字で最大 255 文字まで入力可能です。</p>
SSL アクセラレータの使用	ExLook Online では対応しておりません。
接続の制限	<p>接続制限を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全てのユーザーからの接続を許可する： 接続制限を行いません。 接続を許可するユーザーをファイルで指定する： 指定したユーザーのみ ExLook に接続可能です。 ExLook 接続許可対象のユーザーID を記載したファイルを指定します。 <p>※接続を許可するユーザーID の一覧を、テキスト(.txt)形式で作成します。</p> <p>Exchange Online の場合は、ユーザーID の@より前の部分を指定します。</p> <p>入力例："ttanaka" "kyamada" "knakamura"</p> <ul style="list-style-type: none"> 接続を拒否するユーザーをファイルで指定する： 指定したユーザーは ExLook に接続できません。 ExLook 接続制限対象のユーザーID を記載したファイルを指定します。 <p>※接続を制限するユーザーID の一覧を、テキスト(.txt)形式で作成します。</p> <p>Exchange Online の場合は、ユーザーID の@より前の部分を指定します。</p> <p>入力例："ttanaka" "kyamada" "knakamura"</p> <p>※利用者制限機能のご利用には、別途オプション契約が必要で</p>

	す。
追加認証	ExLook Online では追加認証に対応しておりません。
プライマリ SMTP アドレス	「ドメイン名(FQDN)で指定したものと異なるドメインを使用する」を有効にすると、プライマリ SMTP アドレスのドメインが「ドメイン名(FQDN)」の指定と異なる場合にも使用可能です。 「ドメイン名」に、プライマリ SMTP アドレスのドメインを入力します。
モバイルデバイス別の表示機能の有効化	デバイス別の表示機能について選択します。 <ul style="list-style-type: none"> この ExLook サイトで携帯電話向け表示機能を有効にする：有効にすると、携帯電話(フィーチャーフォン)向け ExLook(cLook)を利用可能です。 この ExLook サイトでスマートフォン向け表示機能を有効にする：有効にすると、スマートフォン向け ExLook(spLook)を利用可能です。
拡張機能の有効化	拡張機能の利用について選択します。 <ul style="list-style-type: none"> この ExLook サイトでリンク表示機能を有効にする：有効にすると、リンク表示機能を利用可能です。 この ExLook サイトでお気に入り機能を有効にする：有効にすると、お気に入り機能を利用可能です。 この ExLook サイトで階層表示機能を有効にする：有効にすると、階層表示機能を利用可能です。

*：必須入力項目

6.2.2 Exchange 設定

「Exchange 設定」項目に、必要な設定を行います。

Exchange設定

Exchangeサーバーの種類

☐ 通常のExchangeサーバーに接続する
☒ Exchange Onlineに接続する

Exchangeサーバー名

Outlook.com

自動検出サービス

☐ 自動検出サービスを使用する

Exchangeサーバーへの接続方法

☐ Exchangeサーバーへの接続にはhttpのみを使用する

Exchangeサーバーの認証方式

☒ OAuth認証 (Office365の場合)

※OAuth認証を使用する場合、アクセス許可を行ってください。(初回のみ)

アクセス許可: Admin Consent

※アプリ使用を許可する設定を行います。

管理者アカウントにて1回のみ実行してください。

[画面 29]

設定	説明
Exchange サーバーの種類	<p>Exchange サーバーを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通常の Exchange サーバーに接続する： オンプレミスの Exchange サーバーを使用する場合に選択してください。 • Exchange Online に接続する： Microsoft 365 の Exchange Online を使用する場合に選択してください。
Exchange サーバー名	<p>利用する Exchange サーバー名を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オンプレミスの Exchange サーバーを使用する場合： 接続先の Exchange サーバー(CAS サーバー)名を入力します。 例) CAS_Server.exlook.com • オンプレミスの Exchange サーバーを使用する場合： Microsoft 365 の Exchange Online を使用する場合は、 「outlook.office365.com」を入力します。
自動検出サービス	<p>自動検出サービスの利用について選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動検出サービスを使用する： 有効にすると、Exchange Web Service に接続する際に Exchange サーバーの自動検出サービスを使用します。 ※通常、この設定は使用しません。
Exchange サーバーへの接続方法	<p>Exchange サーバーへの接続方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Exchange サーバーへの接続には http のみを使用する： 有効にすると、ExLook からの Exchange データ取得時に http のみを使用します。
Exchange サーバーの認証方式	<p>Exchange サーバーへの接続時に使用する認証方式をプルダウンリストから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自動的に識別する： Exchange への認証方式を自動的に識別します。 • 基本認証(Office 365 の場合)： Exchange Online で基本認証 (Basic 認証) を使用する場合に選択してください。 • OAuth 認証(Office 365 の場合)： Exchange Online で OAuth 認証を使用する場合に選択してください。 「6.5 OAuth 認証利用時の設定」の初期設定を行う必要があります。

6.2.3表示設定

「表示設定」項目に、必要な設定を行います。

表示設定

一覧画面の添付ファイル表示

☒ 添付ファイルの有無を表示する

【表示文字】 添付有り 添付無し

【表示位置】

件名の前

週間の予定の先頭

日曜日

連絡先検索項目の既定値

姓

モバイルデバイス別の設定

携帯電話

スマートフォン

パスワードの表示

☒ 伏せ字で表示する

☐ 伏せ字で表示する

メニュー画面

☒ ExLook Todayを使用する

スマートフォンではExLook Todayのみ使用できます。

一覧画面の表示行数

5 行 (5~100)

5 行 (5~100)

一覧画面の一行の表示桁数

100 バイト (16~200)

100 バイト (16~200)

詳細画面1ページ目の表示文字数

2048 バイト (256~10240)


2048 バイト (256~10240)

詳細画面2ページ目以降の表示文字数

2048 バイト (256~10240)

2048 バイト (256~10240)

[画面 30]

設定	説明
一覧画面の添付ファイル表示	<p>リストに添付ファイルの有無を表示させるか否かを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">添付ファイルの有無を表示する： 有効にすると、ExLook のリストで添付ファイルの有無が確認できます。✧ 表示文字 添付ファイルがある場合、および添付ファイルがない場合に表示する文字をそれぞれ設定します。✧ 表示位置 リストに表示する位置を選択します。 <p>※上記設定は、携帯電話向けの ExLook(cLook)のみに反映されます。</p> <p>スマートフォンではメールにファイルが添付されている場合、が表示されます。</p>
週間の予定の先頭	週間予定表の一覧で、先頭に表示する曜日を選択します。
連絡先検索項目の既定値	連絡先(検索)画面で、連絡先の検索項目の既定値を設定します。
モバイルデバイス別の	携帯電話とスマートフォン、それぞれの表示方法を設定します。

設定	<p>※携帯電話向けの ExLook(cLook)の設定を変更する場合は「携帯電話」の列を、スマートフォン向けの ExLook(spLook)の設定を変更する場合は「スマートフォン」の列を変更してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> パスワードの表示： 「伏せ字で表示する」を有効にすると、ExLook ログオン時に入力するパスワードが「*」で表示されます。 メニュー画面： 「ExLook Today を使用する」を有効にすると、ExLook トップ画面が ExLook Today 画面に変更されます。 ※スマートフォンでは ExLook Today のみの仕様のため、画面変更の選択ができません。 一覧画面の表示行数： ExLook でリストを表示する際の行数を設定します。 表示行数は、5-100 行の範囲で変更できます。 一覧画面の一行の表示桁数： ExLook でリストを表示する際、一行に表示する文字数を設定します。 表示桁数は、16-200 バイトの範囲で変更できます。 詳細画面 1 ページ目の表示文字数： ExLook で各アイテムの内容を表示する際の 1 ページ目に表示する文字数を設定します。 表示文字数は、256-10240 バイトの範囲で変更することができます。こちらで設定した文字数を超えると 2 ページ目を表示します。 詳細画面 2 ページ目以降の表示文字数： ExLook で各アイテムの内容を表示する際の 2 ページ目以降に表示する文字数を設定します。 表示文字数は、256-10240 バイトの範囲で変更することができます。こちらで設定した文字数を超えると 2 ページ目以降を表示します。
----	---

6.2.4 添付ファイル参照設定

「添付ファイル参照設定」項目に必要な設定を行います。

添付ファイル参照設定	
添付ファイル参照	<input checked="" type="checkbox"/> 添付ファイルの参照機能を使用する
IRLサーバー名	<input type="text" value="Merchandizer.cloudapp.net"/> ポート <input type="text" value="9877"/>
IRL仮想システム名	<input type="text" value="ExLook"/>
表示用ファイルの一時保存場所	フォルダパス <input type="text"/>
画像変換を行うファイル拡張子 (※拡張子の一覧が記載されたテキスト ファイルを指定してください)	<input type="text" value=".xls,.xlsx,.doc,.docx,.ppt,.pptx,.pdf,.jpg,.png,.gif,.bmp,.tif"/> <div> <input type="button" value="ファイルから読込"/> <input type="button" value="ファイル"/> <input type="button" value="参照..."/> </div>
テキスト形式で参照を行うファイル 拡張子 (※拡張子の一覧が記載されたテキスト ファイルを指定してください)	<input type="text" value=".txt,.log"/> <div> <input type="button" value="ファイルから読込"/> <input type="button" value="ファイル"/> <input type="button" value="参照..."/> </div>
モバイルデバイス別の設定	<div> <div>携帯電話</div> <div>スマートフォン</div> </div>
表示サイズ(幅)	<div> <input type="text" value="240"/> ピクセル (1~1024) </div> <div> <input type="text" value="3328"/> ピクセル (1~4096) </div>
表示サイズ(高さ)	<div> <input type="text" value="320"/> ピクセル (1~1024) </div> <div> <input type="text" value="4096"/> ピクセル (1~4096) </div>
表示用画像の最大ファイルサイズ	<div> <input type="text" value="10"/> キロバイト (1~65) </div> <div> <input type="text" value="1000"/> キロバイト (1~2000) </div>

[画面 31]

設定	説明
添付ファイル参照	添付ファイルの参照について選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 添付ファイルの参照機能を使用する： 有効にすると、添付ファイルの参照が行えます。 ※オプションの添付ファイル参照機能のお申込みが必要です。
IRL サーバー名	Image Resource Locator が導入されているサーバー名を設定します。 オンラインサービス事務局から通知した内容を入力してください。 例：http://eq_Server.exlook.com
ポート	Merchandizer サーバーのポートを設定します。 オンラインサービス事務局から通知した内容を入力してください。
IRL 仮想システム名	Image Resource Locator サーバーの仮想システム名を設定します。 オンラインサービス事務局から通知した内容を入力してください。
表示用ファイルの一時保存場所	ExLook Online では対応しておりません。
画像変換を行うファイル拡張子	画像変換を行うファイルの拡張子を設定します。 使用できる拡張子は「.xls」「.xlsx」「.doc」「.docx」「.ppt」「.pptx」「.pdf」「.jpg」「.jpeg」「.png」「.gif」「.bmp」「.tif」です。 拡張子の間をカンマ「,」で区切ることで、複数の拡張子を指定できます。 例：.xls,.xlsx,.doc,.docx,.png,.gif,.tif 「参照」ボタンを選択して指定する拡張子を記載した.txt ファイルを

	選択し、「ファイルから読込」ボタンを選択することにより、.txt ファイルに記載した拡張子がテキストボックスに入力されます。
テキスト形式で参照を行うファイル拡張子	<p>テキスト形式で参照を行うファイルの拡張子を指定します。使用できる拡張子は「.txt」「.log」です。</p> <p>拡張子の間をカンマ「,」で区切ることで、複数の拡張子を指定できます。</p> <p>例：.txt,.log</p> <p>「参照」ボタンを選択して指定する拡張子を記載した.txt ファイルを選択し、「ファイルから読込」ボタンを選択することにより、.txt ファイルに記載した拡張子がテキストボックスに入力されます。</p>
モバイルデバイス別の設定	<p>携帯電話とスマートフォン、それぞれの参照方法を設定します。</p> <p>※携帯電話向けの ExLook(cLook)の設定を変更する場合は「携帯電話」の列を、スマートフォン向けの ExLook(spLook)の設定を変更する場合は「スマートフォン」の列を変更してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示サイズ(幅)： <p>ExLook 画面に表示する画像のサイズ(幅)を指定します。</p> <p>表示サイズ(幅)は、携帯電話は、1-1024 ピクセルの範囲、スマートフォンは、1-4096 ピクセルの範囲で変更できます。</p> 表示サイズ(高さ)： <p>ExLook 画面に表示する画像のサイズ(高さ)を指定します。</p> <p>表示サイズ(高さ)は、携帯電話は、1-1024 ピクセルの範囲、スマートフォンは、1-4096 ピクセルの範囲で変更できます。</p> 表示用画像の最大ファイルサイズ： <p>表示用画像の最大のファイルサイズを指定します。</p> <p>表示用の画像ファイルを、指定した最大ファイルサイズ以内で作成します。</p> <p>最大ファイルサイズは、携帯電話は、1-65 キロバイトの範囲、スマートフォンは、1-2000 キロバイトの範囲で変更できます。</p>

6.2.5メニュー画面設定

「メニュー画面設定」項目に必要な設定を行います。

メニュー画面設定

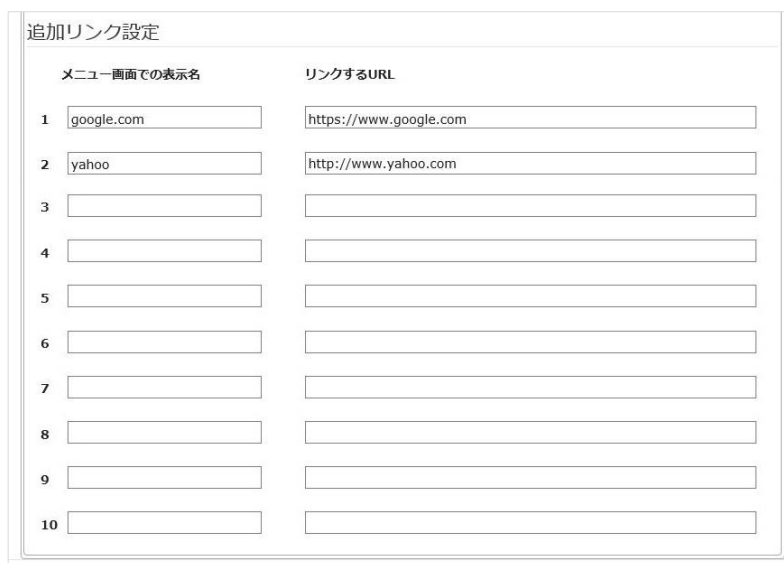
メニュー項目名	表示名（携帯電話）	表示名（スマートフォン）
受信トレイ（未読）	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ未読	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ未読
受信トレイ（全件）	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ全件	<input checked="" type="checkbox"/> 受信トレイ全件
サブフォルダ（未読）	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ未読	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ未読
サブフォルダ（全件）	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ全件	<input checked="" type="checkbox"/> サブフォルダ全件
送信済みアイテム	<input checked="" type="checkbox"/> 送信済みアイテム	<input checked="" type="checkbox"/> 送信済みアイテム
その他のフォルダ	<input checked="" type="checkbox"/> その他のフォルダ	<input checked="" type="checkbox"/> その他のフォルダ
下書き	<input checked="" type="checkbox"/> 下書き	<input checked="" type="checkbox"/> 下書き
メール送信	<input checked="" type="checkbox"/> メール送信	<input checked="" type="checkbox"/> メール送信
会議出席依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 会議出席依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 会議出席依頼
本日の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 本日の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 本日の予定
週間の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 週間の予定表	<input checked="" type="checkbox"/> 週間の予定表
月間の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 月間の予定表	<input checked="" type="checkbox"/> 月間の予定表
他人の予定	<input checked="" type="checkbox"/> 他人の予定表	<input checked="" type="checkbox"/> 他人の予定表
連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡先	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡先
仕事	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事	<input checked="" type="checkbox"/> 仕事
メモ	<input checked="" type="checkbox"/> メモ	<input checked="" type="checkbox"/> メモ
不在設定	<input checked="" type="checkbox"/> 不在設定	<input checked="" type="checkbox"/> 不在設定
ログアウト	<input checked="" type="checkbox"/> ログオフ	<input checked="" type="checkbox"/> ログオフ
リンク	<input checked="" type="checkbox"/> [追加リンク設定]で設定	<input checked="" type="checkbox"/> [追加リンク設定]で設定
お気に入り	<input type="checkbox"/> お気に入り	<input type="checkbox"/> お気に入り

[画面 32]

設定	説明
メニュー設定	<p>携帯電話とスマートフォン、それぞれの表示方法を設定します。</p> <p>※携帯電話向けの ExLook(cLook)の設定を変更する場合は「携帯電話」の列を、スマートフォン向けの ExLook(spLook)の設定を変更する場合は「スマートフォン」の列を変更してください。</p> <ul style="list-style-type: none">メニュー項目名： メニュー画面に表示する場合は、項目のチェックを有効にします。表示名： メニュー画面に表示する項目名を設定します。

6.2.6追加リンク設定

「追加リンク設定」項目に必要な設定を行います。



	メニュー画面での表示名	リンクするURL
1	google.com	https://www.google.com
2	yahoo	http://www.yahoo.com
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

[画面 33]

設定	説明
追加リンク	<ul style="list-style-type: none"> メニュー画面での表示名： リンク画面に表示させるリンクの表示名を設定します。 ※件名なしの表示名を登録する場合、スペースを入力します。 リンクする URL： リンク画面に表示させるリンク先の URL を設定します。

6.3 ExLook サイト設定：削除

1. 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
2. 「ExLook 管理ツール」 - 「ExLook サイト設定」タブを開きます。
3. プルダウンリストから削除する「ExLook サイト名」を選択します。
4. 「削除」ボタンを選択すると、表示中の ExLook サイト設定をすべて削除します。



[画面 34]

6.4 共通設定：ログ出力

ExLook ログオン履歴を出力する際の設定を行います。

1. 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
2. 「ExLook 管理ツール」 - 「共通設定」タブを開きます。
3. ExLook サイト共通設定画面で、必要な設定を行います。



ExLook

ExLook管理ツール ExLook機体認証管理ツール

ExLookサイト設定 共通設定

ExLook共通設定

ログ出力 ☒ ログオン時にユーザーIDを記録する

設定内容を保存 再表示

[画面 35]

設定	説明
ログ出力	ログオン時のユーザーID 記録について選択します。 既定では「有効」に設定されています。 <ul style="list-style-type: none">• ログオン時にユーザーID を記録する： 有効にすると、ExLook ログオン時にユーザーID が記録されます。

4. 「設定内容を保存」を選択すると、設定を保存します。

6.5 OAuth 認証利用時の設定

ExLook で OAuth 認証を利用するための設定を行います。

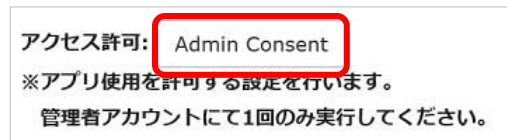
6.5.1 初期設定

Exchange サーバーの認証方式で「OAuth 認証(Office 365 の場合)」を選択した場合、OAuth 認証を使用するための初期設定を行う必要があります。

本設定を行うことにより、ExLook で OAuth 認証が使用可能になります。

本設定は、Microsoft 365(Office 365)の管理者アカウントで初回のみ実施する必要があります。

1. 「Admin Consent」を選択します。



[画面 36]

2. 新しいウィンドウが開くので、Microsoft 365(Office 365)の管理者のメールアドレスとパスワードを入力してサインインします。



[画面 37]

3. ExLook で OAuth 認証を利用するためのアクセス許可が要求されるので、「承諾」 ボタンを選択します。



[画面 38]

4. 処理が完了すると「ウィンドウを閉じてください」と表示されるので、手動でウィンドウを閉じます。

6.5.2 設定解除

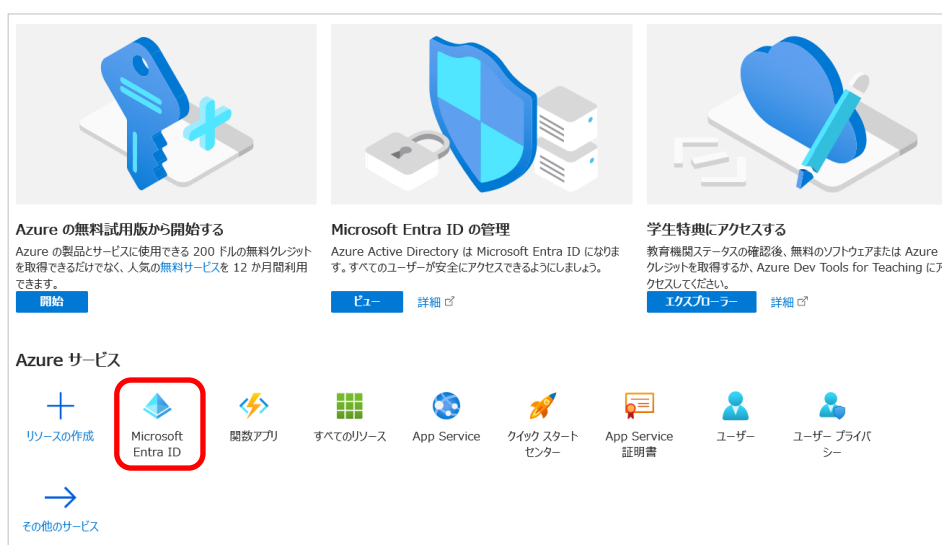
ExLook で OAuth 認証を使用しなくなった場合、Microsoft Azure Portal サイトから手動でアプリケーションを削除することにより、ExLook OAuth 認証用の設定を解除することができます。

1. Microsoft Azure ポータルサイトに接続します。
 - <https://portal.azure.com>
2. Microsoft 365(Office 365)の管理者アカウントとパスワードを入力し、「サインイン」 ボタンを選択します。



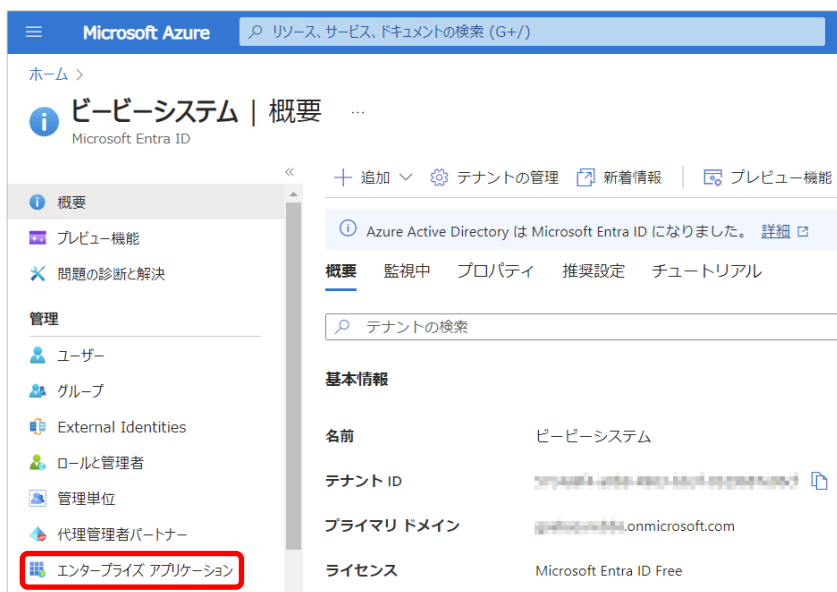
[画面 39]

3. Azure サービスメニューから、「Microsoft Entra ID」を選択します。



[画面 40]

4. 「エンタープライズ アプリケーション」を選択します。



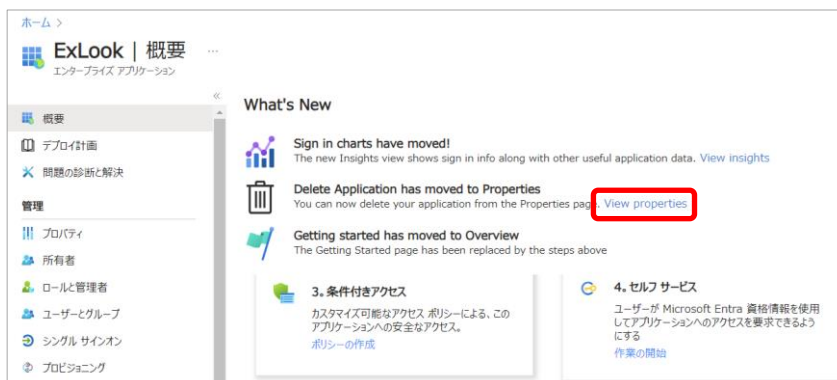
[画面 41]

5. アプリケーション一覧の中から「ExLook」を選択します。



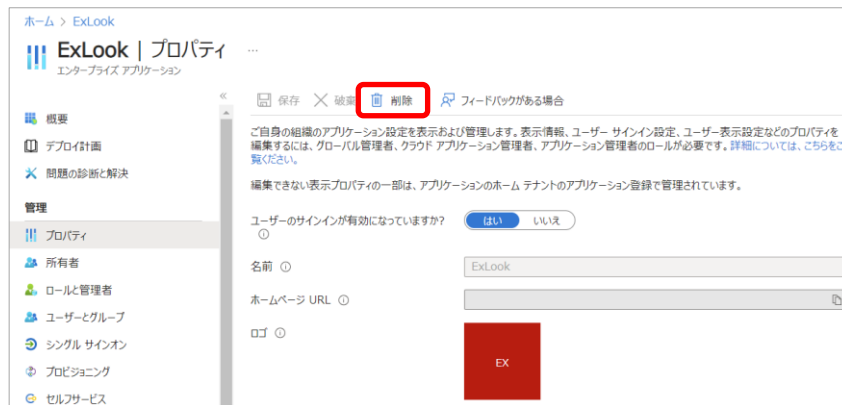
[画面 42]

6. Delete Application has moved to Properties の「View Properties」を選択します。



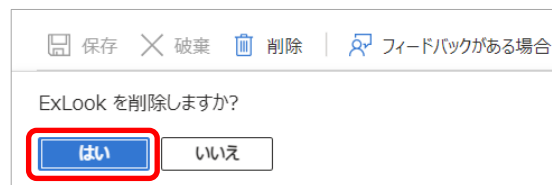
[画面 43]

7. ヘッダーの「削除」を選択します。



[画面 44]

8. 削除確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンを選択します。



[画面 45]

7. ExLook 設定：ExLook 機体認証管理ツール

機体認証オプションを利用すると、サイトごとに ExLook を利用可能な端末を制限できます。

なお、機体認証はオプションの申し込みが必要です。

管理ツールでは、以下の内容が設定可能です。

- 端末登録パスワードの変更
- 端末登録の許可
- PIN コードのロック解除
- アクセス禁止端末の指定・解除

※機能の詳細については、別紙「ExLook Online 管理者マニュアル」をご参照ください。

7.1 サイト設定：新規追加

新しい機体認証サイトを追加します。

1. 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
2. 「ExLook 機体認証管理ツール」タブを開きます。
3. サイト設定画面で、「新規追加」ボタンを選択します。



[画面 46]

4. ExLook 機体認証管理ツール サイト登録画面が開くので、必要な設定を行います。



[画面 47]

設定	説明
新規サイト名 *	機体認証を設定する ExLook サイト名を入力します。 半角英数字を 32 文字以下で入力します。 ※重複する名前は指定できません。 ※サイト名は、「ExLook 管理ツール」で設定した ExLook サイトと同じ名称を使用してください。
設定値のコピー元サイト	「(既定値)」を選択します。 同じ設定のサイトを複数追加する場合は、コピー元のサイト名を選択します。

*：必須入力項目

- 「保存」ボタンを選択すると、ExLook 管理画面に新しいサイト設定が表示されます。
「戻る」ボタンを選択すると、設定内容を破棄し、ExLook 管理画面に戻ります。
- 「設定内容を保存」ボタンを選択し、機体認証サイトの追加設定を保存します。

7.2 サイト設定：変更

既存の機体認証サイトの設定を変更します。

- 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
- 「ExLook 管理ツール」 - 「ExLook 機体認証管理ツール」タブを開きます。
- サイト設定画面で、プルダウンリストから編集する「サイト名」を選択します。



[画面 48]

- サイトの設定情報画面で、必要な設定を行います。
 - 「設定内容を保存」ボタンを選択し、設定を保存します。
- ※以降に、設定可能な項目について説明します。

7.2.1 基本設定

「基本設定」項目に、必要な設定を行います。

基本設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 機体認証オプションを使用する	<input type="checkbox"/> SSLアクセラレータを使用する
SSLアクセラレータ	

[画面 49]

設定	説明
機体認証オプションを使用する	<p>機体認証オプションの利用について選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 機体認証オプションを使用する： 有効にすると、機体認証オプションを使用します。
SSL アクセラレータ	<p>SSL アクセラレータについて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSL アクセラレータを使用する： 有効にすると、SSL アクセラレータを使用します。 <p>※ExLook Online では対応しておりません。</p>

7.2.2 ホワイトリスト設定

「ホワイトリスト設定」項目に、必要な設定を行います。

ホワイトリスト設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 利用前にホワイトリストへ機体IDの登録を必要とする	
※詳細設定は[ユーザー管理]タブの[ホワイトリスト管理]から行ってください。	
利用者が認証時に入力する情報	<input checked="" type="radio"/> PINコード / <input type="radio"/> ユーザーID・パスワード

[画面 50]

設定	説明
利用前にホワイトリストへ機体IDの登録を必要とする	<p>有効にすると、ホワイトリストに事前登録済みの端末のみ使用することができます。</p> <p>無効にすると、ホワイトリストに端末情報を登録せずに使用することができます。</p> <p>※スマートフォンから機体認証を使用する場合は、「有効」にしての利用を推奨します。</p>
利用者が認証時に入力する情報	<p>ExLook 認証時に入力する情報について選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> PIN コード： <p>初回ログオン時にユーザーID・パスワード・PIN コードを登録する必要があります。</p> <p>次回以降のログオン時は PIN コードのみを入力して使用することができます。</p> <p>※表示サイトには、「PIN コード設定」「マスク設定」が適用されます。</p> ユーザーID・パスワード：

	<p>ログオン時に毎回ユーザーID・パスワードを入力する必要があります。</p> <p>利用者のユーザーID・パスワードは機体認証オプションのデータベースに格納されません。</p> <p>※表示サイトには、「マスク設定」が適用されます。</p>
--	--

7.2.3PIN コード設定

「PIN コード設定」項目に、必要な設定を行います。

PINコード設定

PINコード 最小文字数 ※半角数字

PINコード 最大文字数 ※半角数字

ロックアウトまでの回数 ※半角数字

利用者によるPINコードクリア機能 ☒ 有効にする

[画面 51]

設定	説明
PIN コード最小文字数	ユーザーが設定する PIN コードの最小文字数を半角数字 1-1024 の範囲で指定します。
PIN コード最大文字数	ユーザーが設定する PIN コードの最大文字数を半角数字 1-1024 の範囲で指定します。
ロックアウトまでの回数	<p>ログオン時にユーザーが正しくない PIN コードを入力した際の許容回数を半角数字 1-1024 の範囲で指定します。</p> <p>ログオン試行が許容回数を超過した場合、PIN コードをロックアウトします。</p> <p>※端末を利用するには、「PIN コードクリア」を実行し、有効なユーザーID・パスワード・PIN コードを登録し直す必要があります。</p>
利用者による PIN コードクリア機能	<p>有効にすると、ユーザー自身が端末の PIN コード登録情報を削除できるようになります。</p> <p>無効にすると、端末の PIN コード登録情報を削除できるのは管理者のみとなります。</p> <p>※PIN コードクリアを実行した端末は、有効なユーザーID・パスワード・PIN コードを登録することで、再度 ExLook にログオン可能です。</p>

7.2.4 マスク設定

「マスク設定」項目に、必要な設定を行います。

マスク設定	
ユーザーID	<input type="checkbox"/> 伏せ字で表示する
パスワード	<input checked="" type="checkbox"/> 伏せ字で表示する
PINコード	<input checked="" type="checkbox"/> 伏せ字で表示する

[画面 52]

設定	説明
ユーザーID	入力したユーザーID のマスクについて選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 伏せ字で表示する： 有効にすると、ログオン時にユーザーが入力するユーザーID が「*」で表示されます。 無効にすると、入力したユーザーID がそのまま表示されます。
パスワード	入力したパスワードのマスクについて選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 伏せ字で表示する： 有効にすると、ログオン時にユーザーが入力するパスワードが「*」で表示されます。 無効にすると、入力したパスワードがそのまま表示されます。
PIN コード	入力した PIN コードのマスクについて選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 伏せ字で表示する： 有効にすると、ログオン時にユーザーが入力する PIN コードが「*」で表示されます。 無効にすると、入力した PIN コードがそのまま表示されます。

7.3 サイト設定：削除

既存の機体認証サイトを削除します。

1. 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
2. 「ExLook 機体認証管理ツール」タブを開きます。
3. サイト設定画面で、プルダウンリストから削除する「サイト名」を選択します。
4. 「削除」ボタンを選択すると、表示中のサイト設定をすべて削除します。

ExLook

ExLook管理ツール ExLook機体認証管理ツール

サイト設定 ユーザー管理

サイト名 bbstest00004 ▼ 新規追加 設定内容を保存 **削除** 再表示

[画面 53]

7.4 ユーザー管理：ホワイトリスト管理

端末登録用ページで携帯端末の登録・表示を行います。

1. 管理メニューから「ExLook」を選択すると、ExLook の管理画面が開きます。
2. 「ExLook 機体認証管理ツール」タブを開きます。
3. 「ユーザー管理」タブを開きます。
4. 「ホワイトリスト管理」ボタンを選択します。

The screenshot shows the 'ExLook' management interface. At the top, there are two tabs: 'ExLook管理ツール' and 'ExLook機体認証管理ツール'. Below these, there are two sub-tabs: 'サイト設定' and 'ユーザー管理', with 'ユーザー管理' highlighted by a red box. Under 'ユーザー管理', there are sections for '検索条件' (Search Conditions) and '抽出条件' (Extraction Conditions). The '検索条件' section includes input fields for 'サイト名' and 'ユーザーID', a '検索' button, and dropdown menus for '表示順' (set to 'なし') and '件数' (set to '10'). The '抽出条件' section has several checkboxes: '削除された情報を表示する' (unchecked), 'PINコードがロックされた端末' (unchecked), '利用出来ないとマークした端末' (unchecked), 'docomo' (checked), 'softbank' (checked), 'au' (checked), and 'other' (checked). At the bottom, there is a section titled 'ホワイトリスト管理' with a button labeled 'ホワイトリスト管理' highlighted by a red box.

[画面 54]

5. ExLook 機体認証管理ツールホワイトリスト設定画面で、必要な設定を行います。
※以降に、設定可能な項目について説明します。

7.4.1 ホワイトリスト設定（端末登録用ページ）

「ホワイトリスト設定」項目に、必要な設定を行います。

1. ExLook 機体認証管理ツールホワイトリスト設定画面で、「ホワイトリスト設定」に必要な設定を行います。

ホワイトリスト設定

サイト名

☒ 利用者による機体ID登録画面の利用を許可する

登録コード ※半角英数字・記号

登録コードの表示 ☒ 伏せ字で表示する

登録時の機体IDの状態 ☒ 有効にする

[画面 55]

設定	説明
サイト名	プルダウンリストから編集する「サイト名」を選択します。
利用者による機体 ID 登録画面の利用を許可する	有効にすると、ユーザーが機体 ID 登録画面にアクセスできるようになり、端末の登録を行うことができます。 無効にすると、ユーザーは機体 ID 登録画面にアクセスできません。
登録コード *	端末を登録する際に使用する登録コードを半角英数字・記号で入力します。
登録コードの表示	入力した登録コードのマスクについて選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 伏せ字で表示する： <p>有効にすると、入力した登録コードが、「*」で表示されます。</p> <p>無効にすると、入力したユーザーID がそのまま表示されます。</p>
登録時の機体 ID の状態	有効にすると、登録端末の機体 ID を有効に設定します。 無効にすると、登録端末の機体 ID は有効になりません。 ※有効にする場合、管理者が個別に設定する必要があります。 ※機体 ID が有効でない端末は、ExLook に接続できません。

*：必須入力項目

- 「設定内容を保存」ボタンを選択し、設定を保存します。
- 「閉じる」ボタンを選択すると、ExLook 管理画面に戻ります。

設定後、ExLook Online の利用者はシステムに端末が登録できるようになります。

端末登録用ページへのアクセス URL は以下となります。

- 携帯電話用：

[https://www.exlook.net/udid/asp/wl/register.aspx?ExLookSITE=\(サイト名\)](https://www.exlook.net/udid/asp/wl/register.aspx?ExLookSITE=(サイト名))
- スマートフォン用：

[https://www.exlook.net/udid/asp/wlsp/register.aspx?ExLookSITE=\(サイト名\)](https://www.exlook.net/udid/asp/wlsp/register.aspx?ExLookSITE=(サイト名))

※サイト名を指定しない場合、エラーメッセージが表示されます。
※端末登録用のページと ExLook ログインページの URL は異なります。



[画面 56]

7.4.2端末情報の表示・検索

登録した端末情報をサイトごとに表示します。
また、条件を設定し、特定の端末情報を絞り込み検索します。

- 1. 「ユーザー管理」タブを開き、「ホワイトリスト管理」ボタンを選択します。
- 2. ExLook 機体認証管理ツールホワイトリスト設定画面のホワイトリスト設定で、プルダウンリストから「サイト名」を選択します。
- 3. 「検索条件」「抽出条件」を設定します。



[画面 57]

項目	説明
検索条件	検索条件を設定します。

	<ul style="list-style-type: none"> 検索ボタン： 「機体 ID」「ユーザーID」で指定した端末情報を検索します。 表示順： 表示されている端末情報を並べ替えます。 表示件数変更ドロップダウン： 1 ページに表示する端末情報の件数を変更します。
抽出条件	<p>抽出条件を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 無効な情報を表示する： 機体 ID が無効化された端末情報を抽出します。 docomo： キャリアが docomo (DoCoMo) の端末情報を抽出します。 softbank： キャリアが softbank (SoftBank) の端末情報を抽出します。 au： キャリアが au (KDDI) の端末情報を抽出します。 other： キャリアが docomo・softbank・au 以外の端末情報を抽出します。(Mozilla を含む) ※スマートフォンの表示は全て Mozilla となります。

4. 設定した条件に一致する端末情報が、「ホワイトリスト状態」に表示されます。

ホワイトリスト状態 更新 削除									
選択	サイト	機体ID	ユーザーID	キャリア	エージェント	有効	更新日時	登録日時	
<input type="checkbox"/>	bbstest00004			DoCoMo	DoCoMo/2.0 P903i(c10...	<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/26 16:19:03	2018/03/26 16:19:03	
<input type="checkbox"/>	bbstest00004	ezweb.ne.jp		KDDI	KDDI-CA39 UP.Browse...	<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/26 16:19:31	2018/03/26 16:19:31	
<input type="checkbox"/>	bbstest00004			Mozilla	Mozilla/5.0 (Windows...	<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/26 16:17:51	2018/03/26 16:17:51	
First Previous 1 Next Last									

[画面 58]

項目	説明
サイト	ご契約頂いているサイト名を表示します。
機体 ID	ExLook で管理する端末の機体 ID 情報を表示します。
ユーザーID	利用者のユーザーID を表示します。
キャリア	携帯電話（フィーチャーフォン）の場合、ご契約のキャリアを表示します。 スマートフォンの場合、端末の会社に関わらずすべて「Mozilla」と

	表示されます。
エージェント	端末のユーザーエージェントを表示します。
有効	登録した端末が有効となり、ExLook を利用することができます。
更新日時	端末情報が更新された日時を表示します。
登録日時	端末情報を初回登録した日時を表示します。

7.4.3登録端末の有効化・無効化

登録端末の機体 ID を有効化・無効化します。

1. 「ユーザー管理」タブを開き、「ホワイトリスト管理」ボタンを選択します。
2. ExLook 機体認証管理ツールホワイトリスト設定画面のホワイトリスト設定で、プルダウンリストから「サイト名」を選択します。
3. 選択したサイトの詳細が、「ホワイトリスト状態」に表示されます。

ホワイトリスト状態 更新 削除								
選択	サイト	機体ID	ユーザーID	キャリア	エージェント	有効	更新日時	登録日時
<input type="checkbox"/>	bbstest00004	[機体ID]		DoCoMo	DoCoMo/2.0 P903i(c10...	<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/26 16:19:03	2018/03/26 16:19:03
<input type="checkbox"/>	bbstest00004	[機体ID]		KDDI	KDDI-CA39 UP.Browse...	<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/26 16:19:31	2018/03/26 16:19:31
<input type="checkbox"/>	bbstest00004	[機体ID]		Mozilla	Mozilla/5.0 (Windows...	<input checked="" type="checkbox"/>	2018/03/26 16:17:51	2018/03/26 16:17:51

First Previous **1** Next Last

[画面 59]

4. ホワイトリスト状態一覧から、「機体 ID」のリンクを選択します。
5. ExLook 機体認証管理ツールホワイトリスト状態変更画面で、必要な設定を行います。

ExLook機体認証管理ツールホワイトリスト状態変更

ExLook機体認証管理ツール

サイト

bbstest00004

機体ID

[\[機体ID\]](#)

ユーザーID

キャリア

Mozilla

ユーザーエージェント

Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; Trident/7.0; rv:11.0) like Gecko

有効

☒

更新日時

2018/03/26 16:17:51

登録日時

2018/03/26 16:17:51

適用

閉じる

[画面 60]

設定	説明
有効	<p>チェックボックスを有効にすると、表示端末で ExLook が利用できます。</p> <p>チェックボックスを無効にすると、表示端末で ExLook が利用できなくなります。</p>

- 「適用」ボタンを選択し、設定を保存します。
- 「閉じる」ボタンを選択すると、ホワイトリスト設定画面に戻ります。

7.5 ユーザー管理：端末情報

7.5.1 端末制限設定・解除

アクセス禁止端末の指定や、PIN コードロックアウトの解除・設定を行います。
利用者のユーザーID を元に検索し、端末の設定変更を行います。

- 「ユーザー管理」タブを開くと、すべての端末情報が表示されます。
- 「検索条件」「抽出条件」を設定します。

[画面 61]

項目	説明
検索条件	検索条件を設定します。

	<ul style="list-style-type: none"> 検索ボタン： 「サイト名」「ユーザーID」で指定したユーザー情報を検索します。 表示順： 表示されているユーザー情報を並べ替えます。 表示件数変更ドロップダウン： 1 ページに表示するユーザー情報の件数を変更します。
抽出条件	<p>抽出条件を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 削除された情報を表示する： 削除された端末情報を抽出します。 PIN コードがロックされた端末： ロックされている端末情報を抽出します。 利用出来ないとマークした端末： 利用できない端末情報を抽出します。 docomo： キャリアが docomo (DoCoMo) の端末情報を抽出します。 softbank： キャリアが softbank (SoftBank) の端末情報を抽出します。 au： キャリアが au (KDDI) の端末情報を抽出します。 other： キャリアが docomo・softbank・au 以外の端末情報を抽出します。(Mozilla を含む) ※スマートフォンの表示は全て Mozilla となります。

3. 設定した条件に一致する端末情報が、「ユーザー状態」に表示されます。

検索条件

サイト名 ユーザーID 検索 表示順 なし 10 件表示

抽出条件

☐ 削除された情報を表示する
☐ PINコードがロックされた端末 ☐ 利用出来ないとマークした端末
☒ docomo ☒ softbank ☒ au ☒ other

ホワイトリスト管理

ホワイトリスト管理

ユーザー状態 更新

サイト	ユーザーID	キャリア	エージェント	ミスロック	利用出来ない端末	更新日時	登録日時
bbstest00004	testuser001	KDDI	KDDI-CA39 UP.Browser...	0	<input type="checkbox"/>	2018/03/26 16:30:44	2018/03/26 16:30:23
bbstest00004	testuser001	DoCoMo	DoCoMo/2.0 P903i(c10...	0	<input type="checkbox"/>	2018/03/26 16:35:13	2018/03/26 16:35:12

First Previous 1 Next Last

[画面 62]

4. 「ユーザー状態」一覧から、対象のユーザーID のリンクを選択します。
5. ExLook 機体認証管理ツール ユーザー状態変更画面で、必要な設定を行います。

ExLook機体認証管理ツール ユーザー状態変更

ExLook機体認証管理ツール

サイト	bbstest00004
ユーザーID	testuser001
キャリア	KDDI
ユーザーエージェント	KDDI-CA39 UP.Browser/6.2.0.13.1.5 (GUI) MMP/2.0
ミス回数	0
ロックアウト	<input type="checkbox"/>
利用出来ない端末	<input type="checkbox"/>
更新日時	2018/03/26 16:30:44
登録日時	2018/03/26 16:30:23

適用

閉じる

[画面 63]

設定	説明
ロックアウト	<p>ユーザーが PIN コード入力を試行許容回数以上間違えた場合、チェックボックスが有効になります。</p> <p>※PIN コードはロックアウトされた状態です。</p> <p>チェックボックスを無効にすると、端末の PIN コードはロック解除されます。</p>
利用出来ない端末	<p>チェックボックスを有効にすると、当該の端末からの ExLook 接続は不可となります。</p> <p>チェックボックスを無効にすると、当該の端末からの ExLook 接続が可能となります。</p>

6. 「適用」を選択し、設定を保存します。
7. 「閉じる」を選択すると、ユーザー管理画面に戻ります。

8. ResourceLook・来訪者管理設定

ResourceLook と来訪者管理の管理設定を行います。

ResourceLook は、会議開催時の入室処理や退室処理・端末からの会議室予約・会議予約自動キャンセルなどの機能を利用できます。

来訪者管理は、Outlook・Outlook on the web(OWA)上で、会議予約情報(会議アイテム)に来客に関する様々な情報を登録できます。

※それぞれの管理機能の詳細については、別紙「ResourceLook 管理者・受付用ガイド」「来訪者管理_管理者ガイド」をご参照ください。

1. 管理メニューから「ResourceLook」を選択すると、ResourceLook の管理画面が開きます。



[画面 64]

項目	説明
契約形態	ResourceLook・来訪者管理オプションの契約形態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 利用中： 正式利用中は「利用中」アイコンが緑色で表示されます。 トライアル： トライアル中は「トライアル」アイコンが黄色で表示されます。
ResourceLook 管理機能	リンクを選択すると ResourceLook の管理・受付画面に遷移します。
連絡先	「連絡先」には、お客様からお知らせ頂いた連絡担当が表示されます。 弊社からのメンテナンス情報や障害報告を配信します。 「連絡先変更の依頼（メール）」のリンクから、弊社サポート宛への

	メールを送信することができます。 連絡先の変更依頼や不具合報告の際にご利用ください。
--	---

9. IBLook 設定

IBLook の管理設定を行います。

IBLook では、自分や他人のステータス情報などを登録・確認できます。

※管理機能の詳細については、別紙「IBLook_管理者ガイド」をご参照ください。

1. 管理メニューから「IBLook」を選択すると、IBLook の管理画面が開きます。

AddressLook
GroupLook
ExLook
ResourceLook
IBLook
ScheduleLook Lite

Exchange Account
Sharepoint Account
Federation Setting
User

IBLook

利用中 トライアル

ユーザーデータのプレゼンス情報

プレゼンス情報取得元： ☐ Skype Web API ☒ Microsoft Graph API

ユーザーデータの表示画像

画像表示元： ☒ API (Office プロファイル) ☐ IBLook

フェデレーション リダイレクト先

0:microsoftonline

登録

初期設定

Skype web APIの利用: Admin Consent

Graph APIの利用: Admin Consent

Microsoft Teamsの利用: Admin Consent

※アプリ使用を許可する設定を行います。
管理者アカウントにて1回のみ実行してください。

IBLook管理機能

連絡先 連絡先変更の依頼 (メール)

氏名	e-mail	電話番号
山田 太郎	tyamada@	03-3333-4444
山田 次郎	jyamada@	
山形 雄太	yamagata_yuuta@	03-4444-4441
渡部 フミヤ	watabe_fumiya@	045-121-1212

[画面 65]

項目	説明
契約形態	<p>IBLook の契約形態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用中： <p>正式利用中は「利用中」アイコンが緑色で表示されます。</p> • トライアル： <p>トライアル中は「トライアル」アイコンが黄色で表示されます。</p>
ユーザーデータのプレゼンス情報	<p>ユーザープレゼンス情報の取得元を選択します。</p> <p>既定では「Skype Web API」に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Skype Web API：

	<p>プレゼンスを Skype for Business から取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Graph API : プレゼンスを Microsoft Teams から取得します。
ユーザーデータの表示 画像	<p>ユーザーアイコン画像の取得元を選択します。</p> <p>既定では「IBLook」に設定されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> API(Office プロファイル) : API(Office プロファイル)から取得した画像を、ユーザーアイコンとして表示します。 取得にはユーザーデータのプレゼンス情報で選択した API を使用します。 ※ユーザーが Skype for Business ・ Microsoft Teams にサインインしていない、または Office プロファイルに画像を登録していない場合、アイコンにはデフォルト画像を表示します。 IBLook : IBLook でユーザーごとに登録された画像を、ユーザーアイコンとして表示します。 画像を登録していない場合、アイコンにはデフォルト画像を表示します。
フェデレーション リダイレクト先	<p>フェデレーション認証を利用する際のリダイレクト先を選択します。</p> <p>「1:b2clogin」に設定してください。</p> <p>「登録」ボタンを選択すると、設定を保存します。</p>
Skype web API の利用	<p>IBLook で Skype for Business を利用するにあたり、初期設定を行う必要があります。</p> <p>初期設定が完了すると、Skype for Business のプレゼンス情報を取得できるようになります。</p> <p>実行手順につきましては、「9.1Skype for Business 初期設定」をご参照ください。</p>
Graph API の利用	<p>IBLook で Microsoft Teams(Graph API)を利用するにあたり、初期設定を行う必要があります。</p> <p>初期設定が完了すると、Microsoft Teams のプレゼンス情報を取得できるようになります。</p> <p>実行手順につきましては、「9.2Graph API 初期設定」をご参照ください。</p>
Microsoft Teams の利用	<p>IBLook for Microsoft Teams を利用するにあたり、初期設定を行う必要があります。</p> <p>初期設定が完了すると、Microsoft Entra(旧 Azure Active Directory)にアクセス許可が登録され、組織のユーザーが IBLook for Microsoft</p>

	<p>Teams を利用できるようになります。</p> <p>※製品管理サイトから初期設定を行うまで、IBLook for Microsoft Teams を利用することはできません。</p> <p>実行手順につきましては、「9.3Microsoft Teams 初期設定」をご参照ください。</p>
IBLook 管理機能	リンクを選択すると IBLook の利用画面に遷移します。
連絡先	<p>「連絡先」には、お客様からお知らせ頂いた連絡担当者が表示されます。</p> <p>弊社からのメンテナンス情報や障害報告を配信します。</p> <p>「連絡先変更の依頼（メール）」のリンクから、弊社サポート宛へのメールを送信することができます。</p> <p>連絡先の変更依頼や不具合報告の際にご利用ください。</p>

9.1 Skype for Business 初期設定

Skype web API の管理者初期設定を行います。

初期設定が完了すると、Skype for Business からユーザーアイコン画像が取得できるようになります。

本設定は、Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントで初回のみ実施する必要があります。

1. 管理メニューから「IBLook」を選択すると、IBLook の管理画面が開きます。
2. 「Skype web API の利用」の「Admin Consent」ボタンを選択します。



[画面 66]

3. 新しいウィンドウが開くので、Microsoft 365 の管理者のメールアドレスとパスワードを入力してサインインします。



Microsoft

サインイン

メール、電話、Skype

アカウントをお持ちではない場合、作成できます。

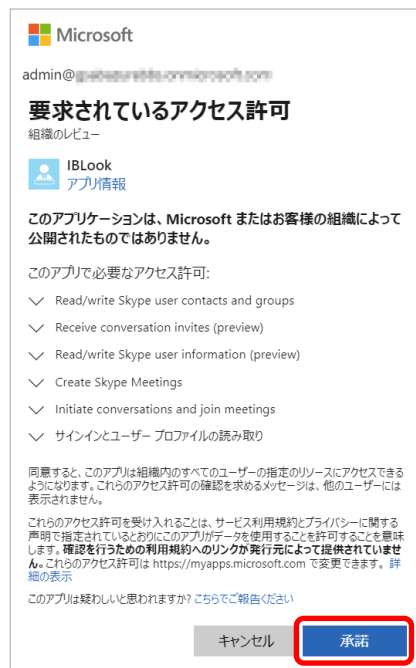
アカウントにアクセスできない場合

サインイン オプション

戻る 次へ

[画面 67]

4. Skype for Business を利用するためのアクセス許可が要求されるので、「承諾」ボタンを選択します。



Microsoft

admin@iblook.com

要求されているアクセス許可

組織のレビュー

IBLook アプリ情報

このアプリケーションは、Microsoft またはお客様の組織によって公開されたものではありません。

このアプリに必要なアクセス許可:

- Read/write Skype user contacts and groups
- Receive conversation invites (preview)
- Read/write Skype user information (preview)
- Create Skype Meetings
- Initiate conversations and join meetings
- サインインとユーザー プロファイルの読み取り

同意すると、このアプリは組織内のすべてのユーザーの指定のリソースにアクセスできるようになります。これらのアクセス許可の確認を求めるメッセージは、他のユーザーには表示されません。

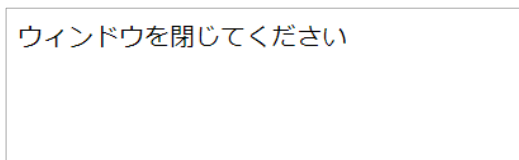
これらのアクセス許可を受け入れることは、サービス利用規約とプライバシーに関する声明で指定されているとおりこのアプリデータを使用することを許可することを意味します。確認を行うための利用規約へのリンクが発行元によって提供されています。詳細の表示

このアプリは疑わしいと思われますか? [こちらでご報告ください](#)

キャンセル 承諾

[画面 68]

5. 処理が完了すると以下のページが表示されるので、手動でウィンドウを閉じます。



ウィンドウを閉じてください

[画面 69]

9.2 Graph API 初期設定

Graph API の管理者初期設定を行います。

初期設定が完了すると、Microsoft Teams(Graph API)からユーザーアイコン画像が取得できるようになります。

本設定は、Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントで初回のみ実施する必要があります。

1. 管理メニューから「IBLook」を選択すると、IBLook の管理画面が開きます。
2. 「Graph API の利用」の「Admin Consent」ボタンを選択します。



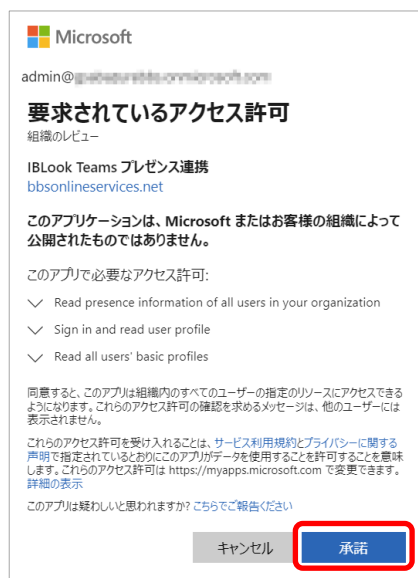
[画面 70]

3. 新しいウィンドウが開くので、Microsoft 365 の管理者のメールアドレスとパスワードを入力してサインインします。



[画面 71]

4. Microsoft Teams(Graph API)を利用するためのアクセス許可が要求されるので、「承諾」ボタンを選択します。



[画面 72]

5. 処理が完了すると以下のページが表示されるので、手動でウィンドウを閉じます。

ウィンドウを閉じてください

[画面 73]

9.3 Microsoft Teams 初期設定

Microsoft Teams の管理者初期設定を行います。

初期設定が完了すると、組織で IBLook for Microsoft Teams が利用できるようになります。

本設定は、Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントで初回のみ実施する必要があります。

1. 管理メニューから「IBLook」を選択すると、IBLook の管理画面が開きます。
2. 「Microsoft Teams の利用」の「Admin Consent」ボタンを選択します。



[画面 74]

3. 新しいウィンドウが開くので、Microsoft 365 の管理者のメールアドレスとパスワードを入力してサインインします。

The image shows the Microsoft sign-in page. At the top is the Microsoft logo. Below it is the word 'サインイン' (Sign in) in large black characters. Underneath is a text input field with the placeholder 'メール、電話、Skype'. Below the field is a link that says 'アカウントをお持ちではない場合、作成できます。' (If you don't have an account, you can create one). Below that is another link: 'アカウントにアクセスできない場合' (If you can't access your account). Further down is the text 'サインイン オプション' (Sign-in options). At the bottom are two buttons: a grey '戻る' (Back) button and a blue '次へ' (Next) button.

[画面 75]

4. Microsoft Teams を利用するためのアクセス許可が要求されるので、「承諾」 ボタンを選択します。

The image shows a Microsoft Teams access permission screen. At the top is the Microsoft logo. Below it is the email address 'admin@ibbangsystem.com'. The main heading is '要求されているアクセス許可' (Required access permissions). Below that is the text '組織のレビュー' (Review by organization). The application is identified as 'IBLook for Teams' by '株式会社ビーバースystem'. A list of permissions is shown with checkmarks: 'Sign in and read user profile', 'Read all users' full profiles', 'Send mail as a user', 'Read the members of teams', 'Read presence information of all users in your organization', and 'Read the members of channels'. A paragraph explains that the app needs access to the organization's resources. Below this is a link to the 'サービス利用規約とプライバシーに関する声明' (Statement regarding service use terms and privacy policy). At the bottom are two buttons: a grey 'キャンセル' (Cancel) button and a blue '承諾' (Accept) button, which is highlighted with a red rectangle.

[画面 76]

5. 処理が完了すると以下のページが表示されるので、手動でウィンドウを閉じます。

ウィンドウを閉じてください

[画面 77]

9.4 設定解除

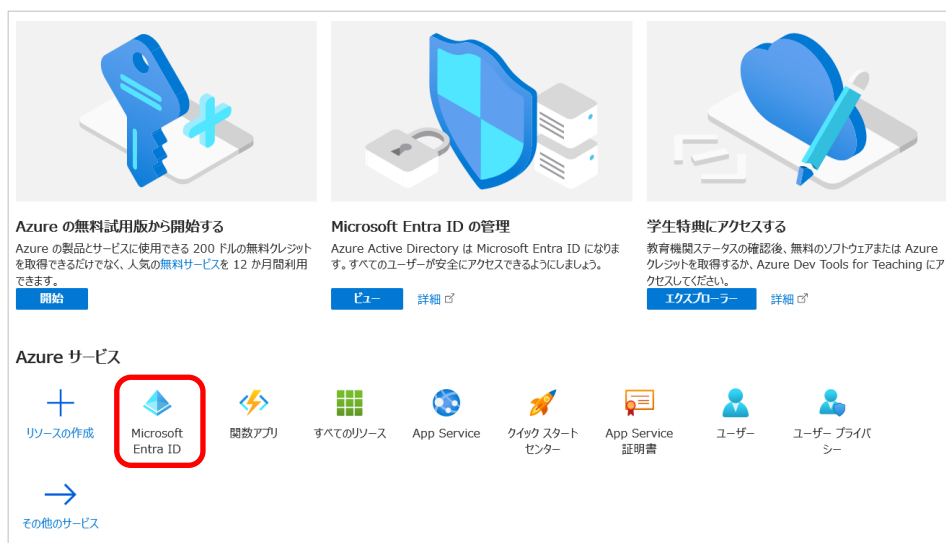
IBLook で Skype for Business / Microsoft Teams を使用しなくなった場合、Microsoft Azure Portal サイトから手動でアプリケーションを削除することにより、Skype for Business / Microsoft Teams に関する設定を解除することができます。

1. Microsoft Azure ポータルサイトに接続します。
 - <https://portal.azure.com>
2. Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントのメールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」ボタンを選択します。



[画面 78]

3. Azure サービスメニューから、「Microsoft Entra ID」を選択します。



[画面 79]

4. 「エンタープライズ アプリケーション」を選択します。



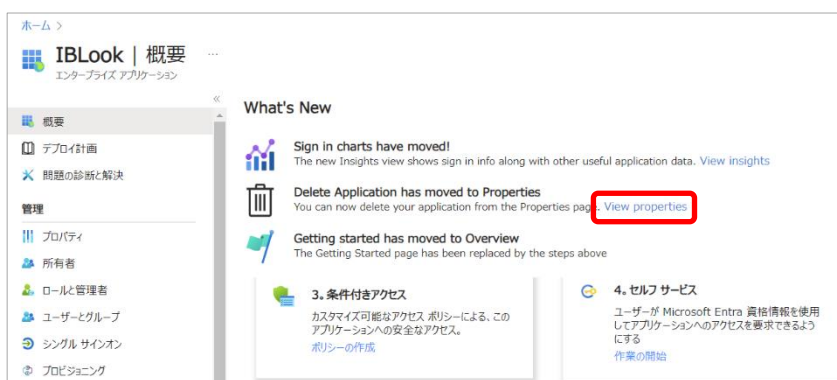
[画面 80]

5. アプリケーション一覧の中から「IBLook」を選択します。



[画面 81]

6. Delete Application has moved to Properties の「View Properties」を選択します。



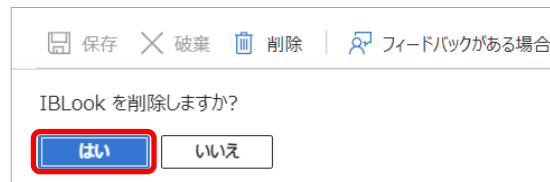
[画面 82]

7. ヘッダーの「削除」を選択します。



[画面 83]

8. 削除確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンを選択します。



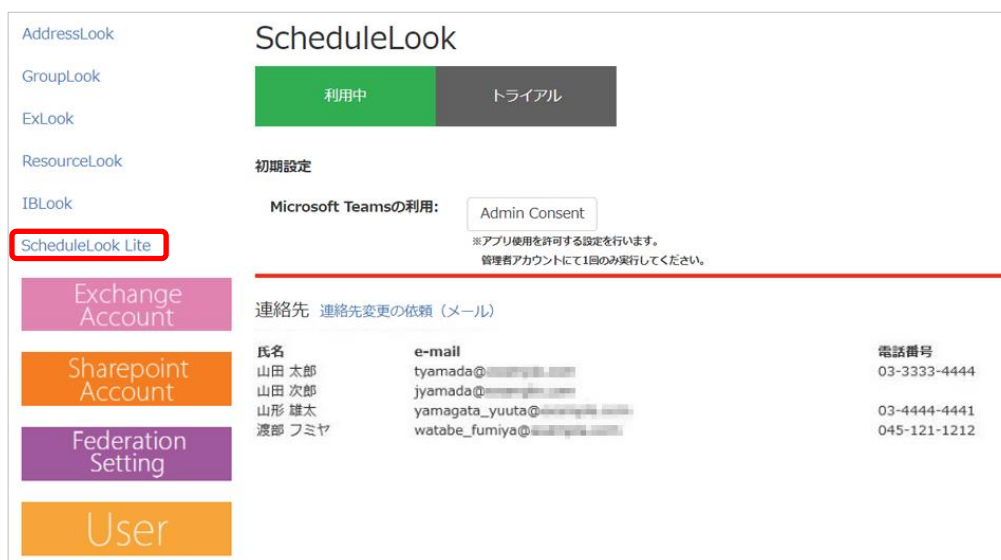
[画面 84]

10. ScheduleLook Lite 設定

ScheduleLook Lite の管理設定を行います。

ScheduleLook Lite では、Microsoft Teams 上でチームメンバーの予定が確認できます。

1. 管理メニューから「ScheduleLook Lite」を選択すると、ScheduleLook Lite の管理画面が開きます。



[画面 85]

項目	説明
契約形態	<p>ScheduleLook Lite の契約形態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用中： <p>正式利用中は「利用中」アイコンが緑色で表示されます。</p> • トライアル： <p>トライアル中は「トライアル」アイコンが黄色で表示されます。</p>
Microsoft Teams の利用	<p>ScheduleLook Lite を利用するにあたり、初期設定を行う必要があります。</p> <p>初期設定が完了すると、Microsoft Teams のすべてのユーザーが ScheduleLook Lite を利用できるようになります。</p> <p>※製品管理サイトから初期設定を行うまで、ScheduleLook Lite を利用することはできません。</p> <p>実行手順につきましては、「10.1ScheduleLook Lite 初期設定」をご参照ください。</p>
連絡先	<p>「連絡先」には、お客様からお知らせ頂いた連絡担当が表示されます。</p> <p>弊社からのメンテナンス情報や障害報告を配信します。</p>

	<p>「連絡先変更の依頼（メール）」のリンクから、弊社サポート宛へのメールを送信することができます。</p> <p>連絡先の変更依頼や不具合報告の際にご利用ください。</p>
--	---

10.1 ScheduleLook Lite 初期設定

ScheduleLook Lite の管理者初期設定を行います。

初期設定が完了すると、Microsoft Teams で ScheduleLook Lite が利用できるようになります。
本設定は、Microsoft 365 のグローバル管理者アカウントで初回のみ実施する必要があります。

1. 管理メニューから「ScheduleLook Lite」を選択すると、ScheduleLook Lite の管理画面が開きます。
2. 「Microsoft Teams の利用」の「Admin Consent」ボタンを選択します。



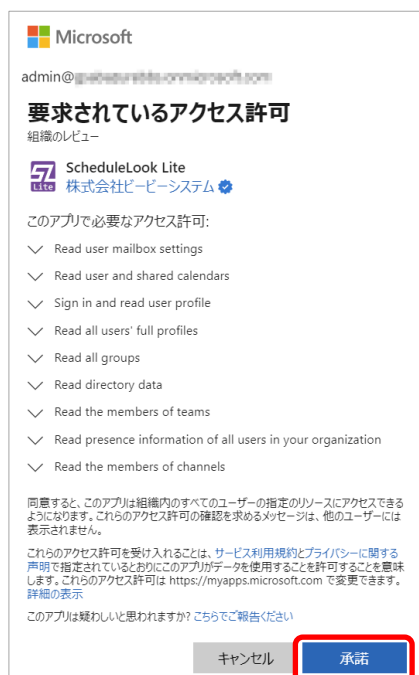
[画面 86]

3. 新しいウィンドウが開くので、Microsoft 365 の管理者のメールアドレスとパスワードを入力してサインインします。



[画面 87]

4. Microsoft Teams を利用するためのアクセス許可が要求されるので、「承諾」ボタンを選択します。



[画面 88]

5. 処理が完了すると以下のページが表示されるので、手動でウィンドウを閉じます。

ウィンドウを閉じてください

[画面 89]

11. 共通設定

以下の共通設定を行います。

- Exchange Account
- SharePoint Account
- Federation Setting
- User

11.1 Exchange アカウント設定

Exchange アカウント設定を行います。

事前に Exchange サービス用アカウントを用意する必要があります。実行手順については、「11.1.1Exchange サービス用アカウントの用意」をご参照ください。

11.1.1 Exchange サービス用アカウントの用意

Exchange サービス用アカウントを作成し、予定取得権限を付与します。

本アカウントは、グループスケジューラーなどのシステム内部で使います。

組織内の閲覧可能なすべての予定表を代理取得・表示する権限を保持します。

セキュリティ強化のため、他の Microsoft 365 管理者アカウントとは異なるアカウントを登録することを推奨します。

尚、本アカウントにはメールボックスが必要です。

1. Microsoft 365 ポータルに管理者アカウントでサインインし、Microsoft 365 管理センターを開きます。

- <https://admin.microsoft.com/>

2. 「ユーザー」メニューから「アクティブなユーザー」を開きます。
3. 「ユーザーの追加」を選択し、Exchange サービス用アカウントを作成します。

※既存のアカウントを使用する場合は、本手順は不要です。



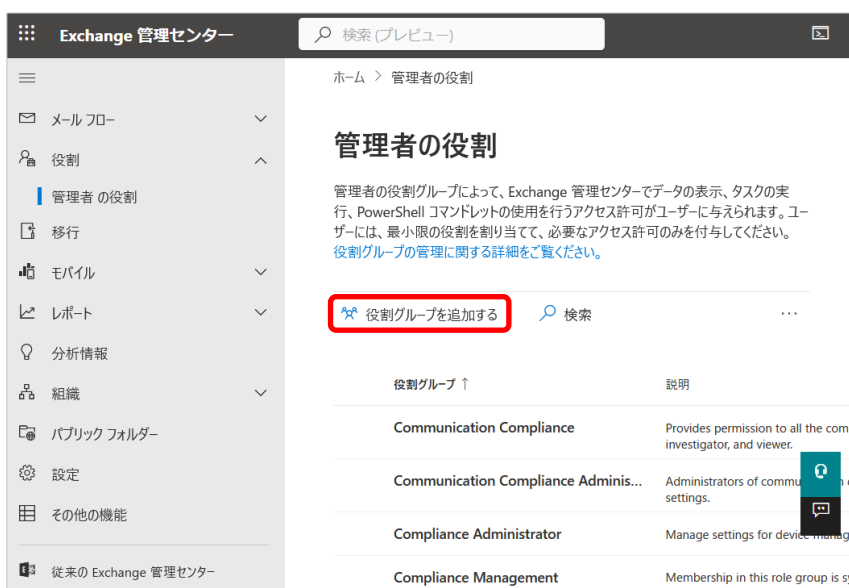
[画面 90]

4. Exchange 管理センターに管理者アカウントでサインインします。

- <https://admin.exchange.microsoft.com/>

5. 「役割」メニューの「管理者の役割」を開きます。

6. 「役割グループを追加する」を選択します。



[画面 91]

7. 基本設定画面で、「名前」欄に任意の名前を入力します。(例：予定取得権限)

8. 必要情報入力後、「次へ」ボタンを選択します。

管理者の役割 > 役割グループの追加

● 基本情報
● アクセス許可
● 管理者
○ 確認と完了

基本設定

最初に、作成する役割グループに関する基本的な情報をいくつか入力します。

名前 *

予定取得権限

説明

この役割グループの目的を他の管理者に知らせるための説明を入力します。

書き込みスコープ ①

Default

次へ キャンセル

[画面 92]

9. アクセス許可を追加画面で「ApplicationImpersonation」を有効にし、「次へ」ボタンを選択します。

管理者の役割 > 役割グループの追加

● 基本情報
● アクセス許可
● 管理者
○ 確認と完了

アクセス許可を追加

予定取得権限の役割グループに追加する役割を選択します。役割は、この役割グループに割り当てられたメンバーに管理権限が割り当てられているタスクの範囲を定義します。

1 個選択済み × ApplicationImpersonation ×

<input type="checkbox"/>	役割 ↑	説明	既定の取得権限のスコープ	既定の構成ス
<input checked="" type="checkbox"/>	ApplicationImpersonation	This role enables applications to impersonate users in an organization in order to perform tasks on behalf of the user.	Organization	None

戻る 次へ キャンセル

[画面 93]

10. 管理者の割り当て画面でメンバー欄を選択し、手順 3 で作成した Exchange サービス用アカウントを追加します。
- 「次へ」ボタンを選択します。

管理者の役割 > 役割グループの追加

基本情報
アクセス許可
管理者
確認と完了

管理者の割り当て

この役割グループに割り当てるユーザーを選択します。これらのユーザーには、前の手順で割り当てた役割を管理するためのアクセス許可が付与されます。

メンバー

名前またはメールアドレスで検索

管理者 ×

戻る 次へ キャンセル

[画面 94]

11. 設定内容を確認し、「役割グループの追加」ボタンを選択します。

管理者の役割 > 役割グループの追加

基本情報
アクセス許可
管理者
確認と完了

役割グループの確認と完了

役割グループのメンバーに、これらの変更による影響の詳細を知らせることをお勧めします。

基本情報
名前: 予定取得権限
説明:
書き込みスコープ: Default
[基本情報の編集](#)

アクセス許可
ApplicationImpersonation
[アクセス許可の編集](#)

管理者
管理者
[管理者の編集](#)

戻る 役割グループの追加 キャンセル

[画面 95]

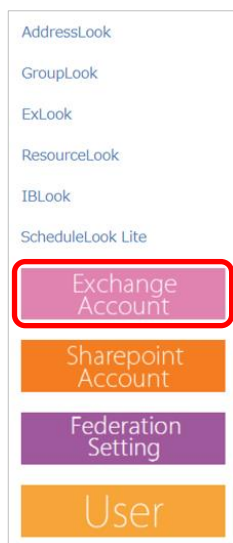
12. 処理が実行され、一覧の中の役割グループが作成されれば操作完了です。

11.1.2 新規作成

Exchange アカウントの新規作成を行います。

※既にアカウントを登録済みの場合、「新規作成」メニューは表示されません。

1. 管理メニューから「Exchange Account」を選択すると、Exchange Account の管理画面が開きます。



[画面 96]

2. 「新規作成」を選択すると、Exchange Account の新規作成画面が開きます。



[画面 97]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。
「キャンセル」ボタンを選択すると、編集内容を破棄して Exchange Account 管理画面に戻ります。

Add New Item

Domain Name

Exchange Server Type

オンライン (自動) ▼

Exchange Server Name

Use Http

☐

Email Address

Password

更新

キャンセル

[画面 98]

項目	説明
Domain Name	使用するドメイン名を完全修飾ドメイン名(FQDN)で入力します。 例：example.co.jp、example.onmicrosoft.com
Exchange Server Type	使用する Exchange サーバーのタイプを選択します。 既定では「オンライン（自動）」が設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> • オンライン（自動） • オンプレミス（自動） • 2017SP1 • 2010 • 2010SP1 • 2010SP2 • 2013 • 2013SP1 • 2016
Exchange Server Name	使用する Exchange サーバー名を入力します。 Microsoft 365 の Exchange Online をご利用の場合は、「outlook.office365.com」を入力します。 オンプレミスの Exchange サーバーをご利用の場合は、Exchange サーバー名を FQDN で入力します。 例：exchange.example.co.jp
Use Http	通信に HTTP を使用するか否かを選択します。 既定では無効に設定されています。
Email Address	Exchange サービス用アカウントのユーザーID を入力します。 例：exchangeserviceaccount@example.co.jp
Password	Exchange サービス用アカウントのパスワードを入力します。

11.1.3 編集

Exchange アカウントの編集を行います。

1. 管理メニューから「Exchange Account」を選択すると、Exchange Account の管理画面が開きます。
2. アカウントの「編集」を選択すると、該当アカウントの編集画面が開きます。

Server Type	Domain Name	Server Name	Http	Email Address	
0:オンライン使用	example.onmicrosoft.com	outlook.office365.com	<input type="checkbox"/>	ktani@example.onmicrosoft.com	編集 削除

[画面 99]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。



EWS User

Domain Name: [redacted].onmicrosoft.com

Exchange Server Type: オンライン (自動) ▼

Exchange Server Name: outlook.office365.com

Use Http: ☐

Email Address: ktani@[redacted].onmicrosoft.com

Password: [redacted]

[更新] [キャンセル]

[画面 100]

※設定項目は「11.1.2 新規作成」をご参照ください。

11.1.4 削除

Exchange アカウントの削除を行います。

1. 管理メニューから「Exchange Account」を選択すると、Exchange Account の管理画面が開きます。
2. アカウントの「削除」を選択すると、該当アカウントの削除確認画面が開きます。

Server Type	Domain Name	Server Name	Http	Email Address	
0:オンライン 使用	[redacted].onmicrosoft.com	outlook.office365.com	<input type="checkbox"/>	ktani@[redacted].onmicrosoft.com	編集 削除

[画面 101]

3. 「削除」ボタンを選択すると、アカウント設定が削除されます。

削除してもよろしいでしょうか。

Domain Name	<input type="text" value="example.onmicrosoft.com"/>
Exchange Server Type	<input type="text" value="0"/>
Exchange Server Name	<input type="text" value="outlook.office365.com"/>
Use Http	<input type="text" value="False"/>
Email Address	<input type="text" value="ktani@example.onmicrosoft.com"/>

[画面 102]

11.2 SharePoint アカウント設定

SharePoint アカウント設定を行います。

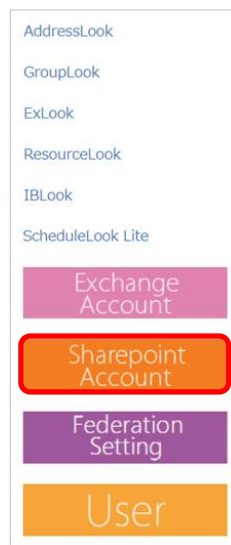
※事前に SharePoint 管理者アカウントと SharePoint 個人用サイトを用意する必要があります。

11.2.1 新規作成

SharePoint アカウントの新規作成を行います。

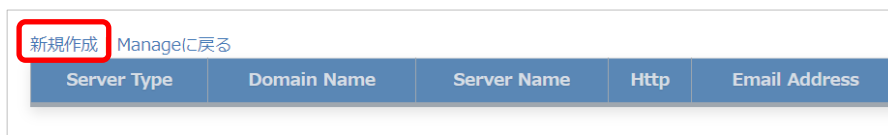
※既にアカウントを登録済みの場合、「新規作成」メニューは表示されません。

1. 管理メニューから「SharePoint Account」を選択すると、SharePoint Account の管理画面が開きます。



[画面 103]

2. 「新規作成」を選択すると、SharePoint Account の新規作成画面が開きます。



[画面 104]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。
「キャンセル」ボタンを選択すると、編集内容を破棄して SharePoint Account 管理画面に戻ります。

Add New Item

Domain Name

SharePoint Server Type

オンライン使用

SharePoint Server Name

Use Http

☐

Email Address

Password

更新

キャンセル

[画面 105]

項目	説明
Domain Name	使用するドメイン名を入力します。
SharePoint Server Type	使用する SharePoint サーバーのタイプを選択します。 既定では「オンライン使用」が設定されています。 <ul style="list-style-type: none">オンライン使用オンプレ使用
SharePoint Server Name	使用する SharePoint サーバー名を入力します。 オンラインの場合、個人用サイトの URL を入力します。 例：ABC-my.sharepoint.com
Use Http	通信に HTTP を使用するか否かを選択します。 既定では無効に設定されています。
Email Address	SharePoint 管理者アカウントのユーザーID を入力します。 例：exchangeserviceaccount@example.co.jp
Password	SharePoint 管理者アカウントのパスワードを入力します。

11.2.2 編集

SharePoint アカウントの編集を行います。

- 管理メニューから「SharePoint Account」を選択すると、SharePoint Account の管理画面が開きます。
- アカウントの「編集」を選択すると、該当アカウントの編集画面が開きます。

Server Type	Domain Name	Server Name	Http	Email Address	
0:オンライン使用	gskvcs.onmicrosoft.com	https://gskvcs.onmicrosoft-my.sharepoint.com/	<input type="checkbox"/>	admin@gskvcs.onmicrosoft.com	編集 削除

[画面 106]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。

SP User

Domain Name

SharePoint Server Type

SharePoint Server Name

Use Http ☐

Email Address

Password

[更新](#) [キャンセル](#)

[画面 107]

※設定項目は「11.2.1 新規作成」をご参照ください。

11.2.3 削除

SharePoint アカウントの削除を行います。

1. 管理メニューから「SharePoint Account」を選択すると、SharePoint Account の管理画面が開きます。
2. アカウントの「削除」を選択すると、該当アカウントの削除確認画面が開きます。

Server Type	Domain Name	Server Name	Http	Email Address	
0:オンライン使用	gskvcs.onmicrosoft.com	https://gskvcs.onmicrosoft-my.sharepoint.com/	<input type="checkbox"/>	admin@gskvcs.onmicrosoft.com	編集 削除

[画面 108]

3. 「削除」 ボタンを選択すると、アカウント設定が削除されます。

削除してもよろしいでしょうか。

Domain Name	<input type="text" value="example.com"/>
SharePoint Server Type	<input type="text" value="0"/>
SharePoint Server Name	<input type="text" value="https://example-my.sharepoint.com/"/>
Use Http	<input type="text" value="False"/>
Email Address	<input type="text" value="admin@example.onmicrosoft.com"/>

[画面 109]

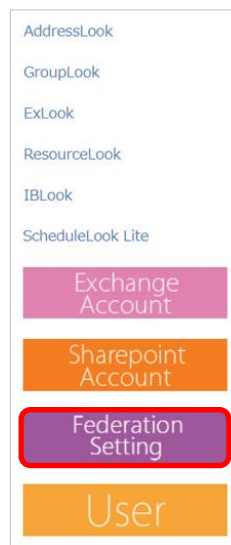
11.3 フェデレーション設定

フェデレーション認証を使用してサインインを行う場合、フェデレーション設定を行います。
※事前にフェデレーション認証設定を実施する必要があります。実行手順については、別紙「Look サービス フェデレーション設定ガイド」の1～3章をご参照ください。

11.3.1 新規作成

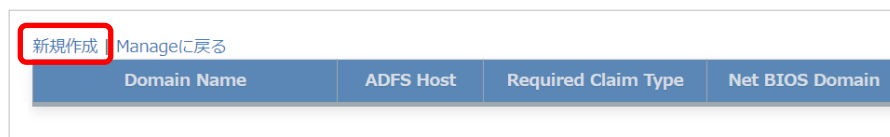
フェデレーション認証を利用するドメインを登録します。

1. 管理メニューから「Federation Setting」を選択すると、Federation Setting 管理画面が開きます。



[画面 110]

2. 「新規作成」を選択すると、Federation Setting の新規作成画面が開きます。



[画面 111]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。

「キャンセル」ボタンを選択すると、編集内容を破棄して Federation Setting 管理画面に戻ります。

[画面 112]

項目	説明
Domain Name	使用するドメイン名を完全修飾ドメイン名(FQDN)で入力します。 例：example.co.jp、example.onmicrosoft.com
ADFS サーバー (FQDN)	ADFS 認証を使用する場合、ADFS ホストアドレスを入力します。
Required Claim Type	要求の種類を入力します。 「upn」 固定です。
Net BIOS Domain	「Domain Name」に入力したドメイン名から、1つ目のピリオドより前の値を入力します。 例：「Domain Name」が example.co.jp の場合、example
Federation Type	使用する認証サーバーのタイプを選択します。 既定では「利用しない」が設定されています。 <ul style="list-style-type: none"> 利用しない ADFS 認証 SAML 認証
Login Url	SAML 認証を使用するための旧設定項目です。

	Azure ポータルや HENNGE One へサインインするためのエンドポイントを入力します。
Issuer	<p>SAML 認証を利用する際に設定する旧設定項目です。 ご利用環境に合わせて URL を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ご利用の AddressLook サーバーが www.addresslook.net 環境の場合： https://www.addresslook.net/SAML ご利用の AddressLook サーバーが hab.addresslook.net 環境の場合： https://hab.addresslook.net/SAML
IsCertificate	<p>SAML 認証を利用する際に設定する旧設定項目です。 トークン署名を設定する場合、有効に設定します。 既定では「無効」に設定されています。</p>
Certificate	<p>SAML 認証を利用する際に設定する旧設定項目です。 受信したトークンで利用されている署名の Base64 でエンコードされた文字列を入力します。</p>
Attribute	<p>SAML 認証を利用する際に設定する旧設定項目です。 受信したトークンから取得する UPN の属性名を入力します。</p>
IsEnableB2C	<p>ADFS 認証または SAML 認証を利用する場合に有効にします。 既定では「有効」に設定されています。</p>

11.3.2 編集

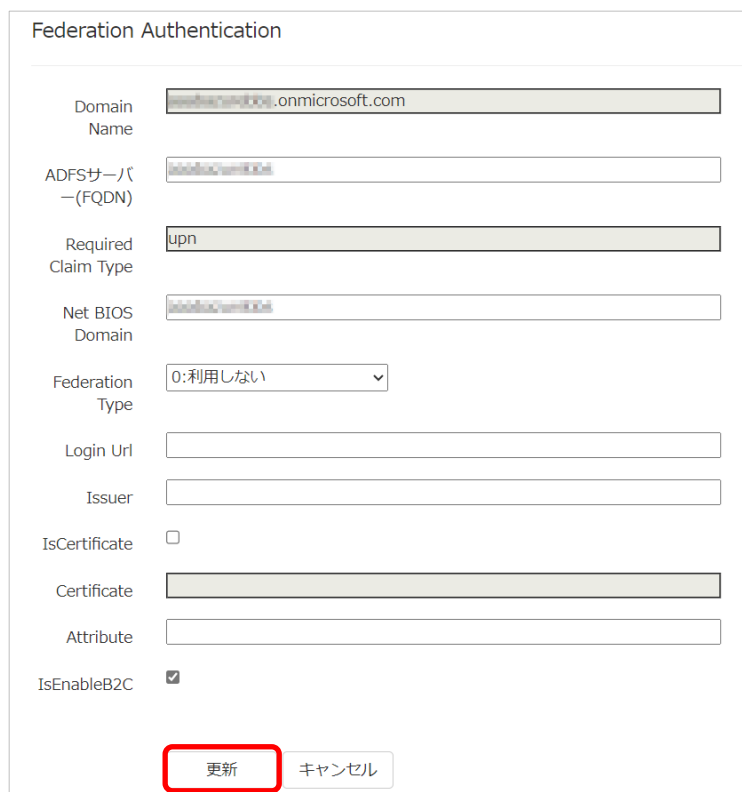
フェデレーション認証を利用するドメインを編集します。

1. 管理メニューから「Federation Setting」を選択すると、Federation Setting 管理画面が開きます。
2. ドメインの「編集」を選択すると、該当ドメインの編集画面が開きます。

新規作成 Manageに戻る				
Domain Name	ADFS Host	Required Claim Type	Net BIOS Domain	
adfs.onmicrosoft.com	adfs.onmicrosoft.com	upn	adfs.onmicrosoft.com	編集 削除

[画面 113]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。



Federation Authentication

Domain Name:

ADFSサーバー(FQDN):

Required Claim Type:

Net BIOS Domain:

Federation Type:

Login Url:

Issuer:

IsCertificate: ☐

Certificate:

Attribute:

IsEnableB2C: ☒

[画面 114]

※設定項目は「11.3.1 新規作成」をご参照ください。

11.3.3 削除

1. 管理メニューから「Federation Setting」を選択すると、Federation Setting 管理画面が開きます。
2. ドメインの「削除」を選択すると、該当ドメインの削除確認画面が開きます。

新規作成 | [Manageに戻る](#)

Domain Name	ADFS Host	Required Claim Type	Net BIOS Domain	
example.onmicrosoft.com	adfs.example.com	upn	example.com	編集 <input checked="" type="button" value="削除"/>

[画面 115]

3. 「削除」ボタンを選択すると、ドメイン設定が削除されます。

削除してもよろしいでしょうか。

Domain Name	<input type="text" value="www.bang.onmicrosoft.com"/>
ADFSサーバー(FQDN)	<input type="text" value="www.bang.onmicrosoft.com"/>
Required Claim Type	<input type="text" value="upn"/>
Net BIOS Domain	<input type="text" value="www.bang.onmicrosoft.com"/>
Federation Type	<input type="text" value="0"/>
Login Url	<input type="text"/>
Issuer	<input type="text"/>
IsCertificate	<input type="text" value="False"/>
Certificate	<input type="text"/>
Attribute	<input type="text"/>
IsEnableB2C	<input type="text" value="True"/>

[画面 116]

11.4 ユーザーアカウント設定

Look 製品を利用するユーザーアカウント設定を行います。

※サインイン中の管理者アカウントは、自アカウントに対し、編集・削除ができません。

編集・削除したいアカウントとは別の管理者アカウントでサインインし、設定を行ってください。

※管理者アカウント(サインインアカウント)には、削除メニューが表示されません。

※CSV 形式ファイルから、アカウント情報のインポートが可能です。

管理者アカウント(サインインアカウント)の情報が CSV ファイルに含まれる場合、当該の管理者アカウントは対象外となります。

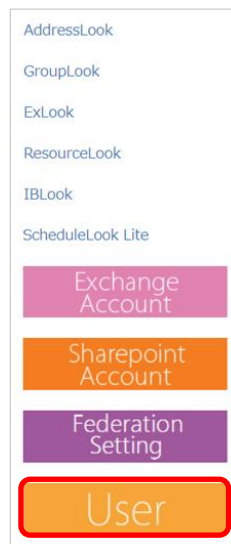
※アカウント一覧は、CSV ファイルに出力可能です。

- CSV エクスポート項目：
Operator、UserId、Password、IsAdmin、AuthenticationType、ExpirationDate、Enabled

11.4.1 新規作成

ユーザーの新規作成を行います。

1. 管理メニューから「User」を選択すると、User 管理画面が開きます。



[画面 117]

2. 「新規作成」を選択すると、User の新規作成画面が開きます。

The screenshot shows a user management interface. At the top left, there are two links: '新規作成' (New Creation) which is highlighted with a red box, and 'Manageに戻る' (Return to Manage). Below these links is a table with the following columns: 'User Name', 'Admin', 'Authentication Type', 'Expiration Date', 'Enabled', 'O365 Identifier', and an unlabeled column containing a '編集' (Edit) link. The table has one row with the following data: 'admin@...', a checked 'Admin' checkbox, '1:FORM認証', '2090年8月25日', a checked 'Enabled' checkbox, and an empty 'O365 Identifier' field. Below the table are two buttons: 'CSVインポート' and 'CSVエクスポート'.

User Name	Admin	Authentication Type	Expiration Date	Enabled	O365 Identifier	
admin@...	<input checked="" type="checkbox"/>	1:FORM認証	2090年8月25日	<input checked="" type="checkbox"/>		編集

Buttons: CSVインポート, CSVエクスポート

[画面 118]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。

「キャンセル」ボタンを選択すると、編集内容を破棄して User 管理画面に戻ります。

The screenshot shows the 'Users' form. At the top, it says 'Windows認証ではユーザーを登録する必要はありません。管理者を追加したい場合のみ登録してください。' (There is no need to register users with Windows authentication. Please register only if you want to add an administrator). The form contains the following fields: 'User Id' (text input), 'Password' (text input), 'Is Admin' (checkbox), 'Authentication Type' (dropdown menu with 'FORM認証' selected), 'Expiration Date' (text input), 'Enabled' (checkbox), 'Office 365 User' (text input), and 'Office 365 Password' (text input). At the bottom, there are two buttons: '更新' (Update) which is highlighted with a red box, and 'キャンセル' (Cancel).

Users

Windows認証ではユーザーを登録する必要はありません。
管理者を追加したい場合のみ登録してください。

User Id: [text input]
Password: [text input]
Is Admin: ☐
Authentication Type: FORM認証 (dropdown)
Expiration Date: [text input]
Enabled: ☐
Office 365 User: [text input]
Office 365 Password: [text input]

Buttons: 更新, キャンセル

[画面 119]

項目	説明
User Id	登録するユーザーのアカウント名を入力します。
Password	アカウントのパスワードを入力します。
Is Admin	管理者権限を付与する場合、有効にします。 既定では「有効」に設定されています。
Authentication Type	使用する認証方式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> FORM 認証 フェデレーション認証 Windows 認証
Expiration Date	アカウントの有効期限を設定します。

Enabled	アカウントを利用可能にする場合、有効に設定します。 既定では「有効」に設定されています。 無効にされたアカウントは、Look 製品が利用できなくなります。
Office 365 User ※任意	アカウントに紐づける Microsoft 365(Office 365)アカウントを入力します。
Office 365 Password ※任意	Microsoft 365(Office 365)アカウントのパスワードを入力します。

11.4.2 編集

ユーザーの編集を行います。

1. 管理メニューから「User」を選択すると、User 管理画面が開きます。
2. ユーザーの「編集」を選択すると、該当ユーザーの編集画面が開きます。

新規作成 | Manageに戻る

User Name	Admin	Authentication Type	Expiration Date	Enabled	O365 Identifier	
admin@yamadaweb.com	<input checked="" type="checkbox"/>	1:FORM認証	2090年12月31日	<input checked="" type="checkbox"/>		編集
ktani@yamadaweb.com	<input type="checkbox"/>	1:FORM認証	2090年12月30日	<input checked="" type="checkbox"/>		編集 削除

CSVインポート CSVエクスポート

[画面 120]

3. 各項目を入力し、「更新」ボタンを選択します。
※管理者は、自身のアカウントの管理者権限(Is Admin)を変更することはできません。

Users

Windows認証ではユーザーを登録する必要はありません。
管理者を追加したい場合のみ登録してください。

User Id

Password

Is Admin ☒

Authentication Type

Expiration Date

Enabled ☒

Office 365 User

Office 365 Password

[画面 121]

※設定項目は「11.4.1 新規作成」をご参照ください。

11.4.3 削除

ユーザーの削除を行います。

1. 管理メニューから「User」を選択すると、User 管理画面が開きます。
2. ユーザーの「削除」を選択すると、該当ユーザーの削除確認画面が開きます。

※管理者は、自分のアカウントを削除することはできません。

新規作成 | Manageに戻る

User Name	Admin	Authentication Type	Expiration Date	Enabled	O365 Identifier	
admin@guafasuribin.onmicrosoft.com	<input checked="" type="checkbox"/>	1:FORM認証	2090年12月31日	<input checked="" type="checkbox"/>		編集
ktani@guafasuribin.onmicrosoft.com	<input type="checkbox"/>	1:FORM認証	2090年12月30日	<input checked="" type="checkbox"/>		編集 削除

[画面 122]

3. 「削除」ボタンを選択すると、ユーザーが削除されます。

削除してもよろしいでしょうか。

User Id	ktani@xxxxxxxxxxxxxx.com
Is Admin	False
Authentication Type	2
Expiration Date	12/30/2090 12:00:00 AM
Enabled	True
Office 365 User	

[画面 123]

12. 連携機能の設定

本章では、各アプリケーションに連携する機能の設定方法について説明します。

12.1 フェデレーション認証設定

ユーザーアカウントのサインインにフェデレーション認証をご利用頂く場合、ADFS サーバー・Azure ポータル・HENNGE One 管理者サイトのいずれかに接続し、設定を行う必要があります。

※設定方法については、別紙「Look サービス フェデレーション設定ガイド」をご参照ください。

設定後弊社サーバー側の設定が必要となりますので、インターネットからアクセス可能なフェデレーション メタデータの URL、またはファイル「FederationMetadata.xml」を Online サービス事務局<online-info@bbsystem.co.jp>までご提供ください。

12.2 組織階層情報メンテナンスツール導入

ユーザーアカウントのサインインにフォーム認証をご利用頂く場合、「組織階層情報メンテナンスツール」を併用可能です。

組織管理者の端末にツールをインストールします。

設定方法については、別紙「組織階層情報メンテナンスツールガイド」の「3.導入」をご参照ください。

※階層型アドレス帳サービスを利用しない場合、ツールのインストールは不要です。

12.2.1 利用可能ユーザーの登録

組織階層情報メンテナンスツールより、各サービスにサインイン可能なユーザーアカウントを登録します。

ユーザーの利用制限は、全サービス共通です。製品ごとに設定を切り替えることはできません。詳細は、別紙「組織階層情報メンテナンスツールガイド」の「4.8 ユーザーメンテナンス」をご参照ください。

階層型アドレス帳サービスを利用しない場合は、「11.4 ユーザーアカウント設定」をご参照ください。

12.3 階層型アドレス帳情報の登録

組織階層情報メンテナンスツールより、階層型アドレス帳に表示する組織階層情報を登録しま

す。

詳細は、別紙「組織階層情報メンテナンスツールガイド」の「4.1 部署に関する機能」および「4.2 アドレスに関する機能」をご参照ください。

変更: アドレス

谷 和美

名前

姓(L)

名(F)

表示名(必須)

イリナスID

フリガナ(姓)

フリガナ(名)

フリガナ(表示名)(F)

タニ

カズミ

タニ カズミ

電子メールアドレス

電子メールアドレス(必須)(-)

市区町村(Y)

電話番号(H)

表示順(0~999999)

内線番号

ktani@

東京都区部 芝大門

03-5777-2801

100

123

アドレスタイプ

役職(E)

会社名(M)

部署(D)

事業所(O)

社員番号

ユーザー

Chief

ピー・シーシステム

営業部

東京本社

NQ-09837

OK

キャンセル

[画面 124]

12.4 複数アドレス帳の登録(AddressLook)

AddressLook をご契約済みの場合、複数アドレス帳のご利用が可能です。

アドレス帳ごとに表示項目の設定・カスタマイズ属性の設定・利用者制限が可能です。

詳細は、別紙「組織階層情報メンテナンスツールガイド」の「4.5 複数アドレス帳に関する機能」をご参照ください。

[illegible]

[画面 125]

以上